

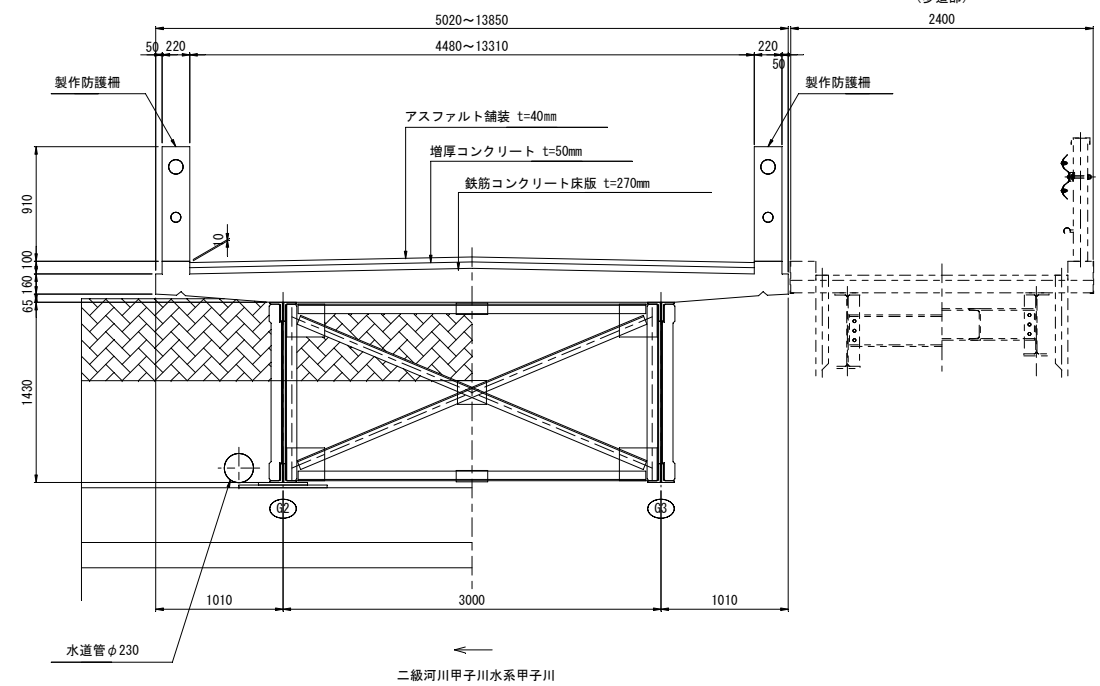
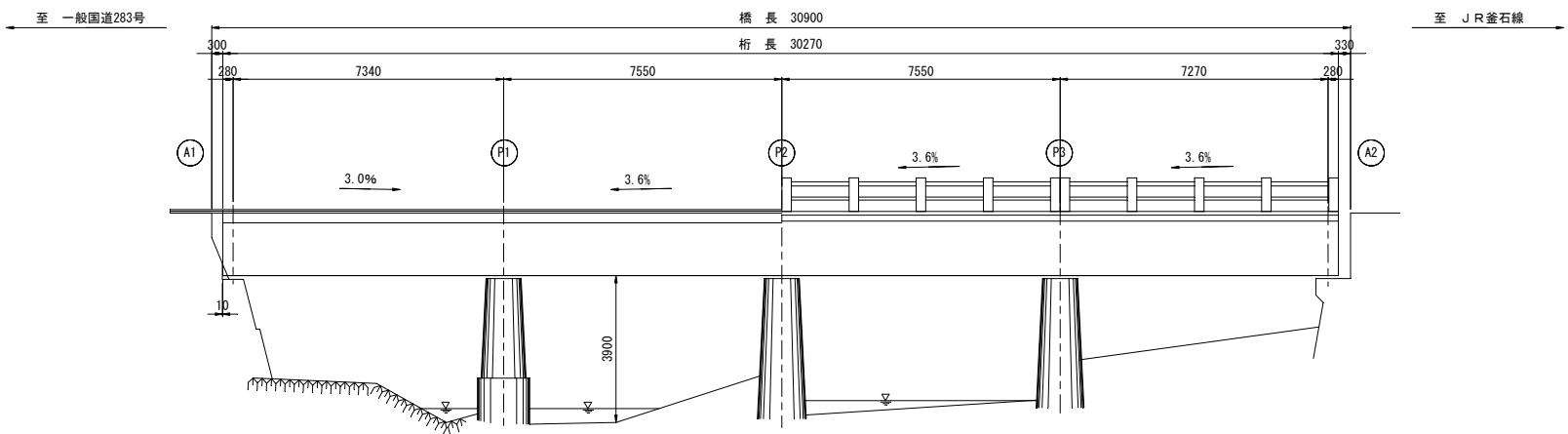
五葉橋（車道部） 現橋一般図

側面図 S=1:100

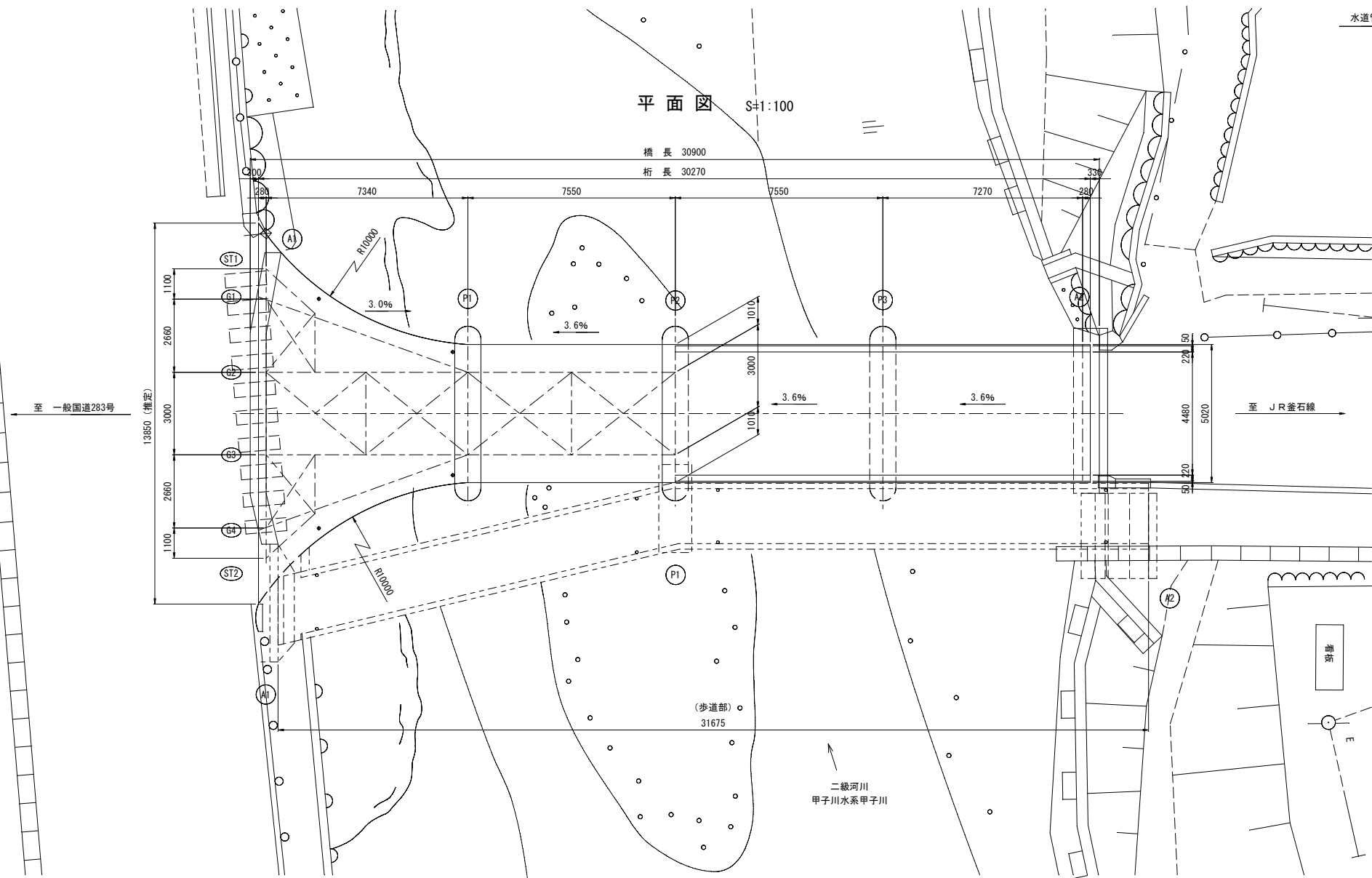
断面図 S=1:30

端部 支間部

(歩道部)



平面図 S=1:100



現橋諸元

型 式	4径間連続鋼桁橋
橋 格	不明
竣 工	昭和29年（1954年）
荷 重	不明
橋 長	30,900m
桁 長	30,270m
支 間	7,340m + 7,550m + 7,550m + 7,270m
幅 員	5,020m~13,850m（有効幅員 4,480m~13,310m）
斜 角	90°
適 用	昭和14年2月（1939）
示 方 書	鋼道路橋設計示方書案（内務省土木局）（推定）

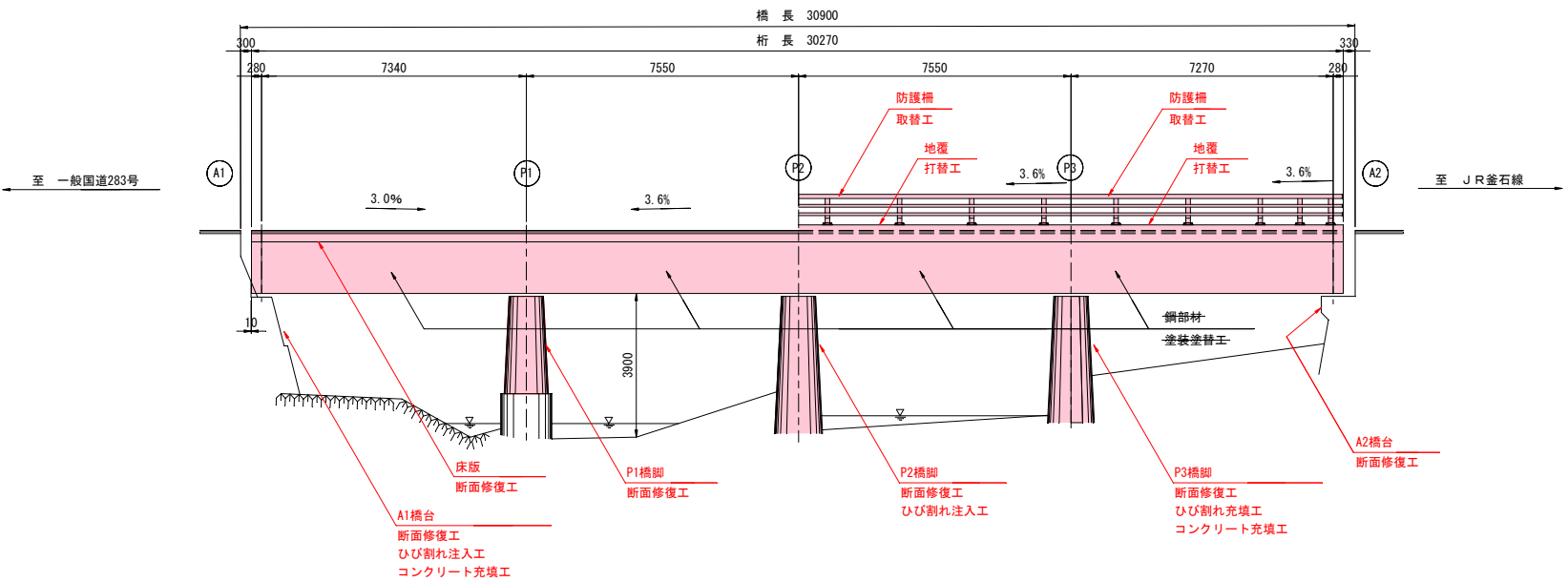
※本図面は、橋梁台帳および現地寸法計測により復元したものである。細部の詳細寸法については、現地再計測の上決定すること。

釜 石 市	
市道 大松1号線	岩手県釜石市 甲子町第3地割
全 22 枚 / 中 其 1	五葉橋（車道部） 現橋一般図
令和 5 年度	
大松1号線（五葉橋）橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

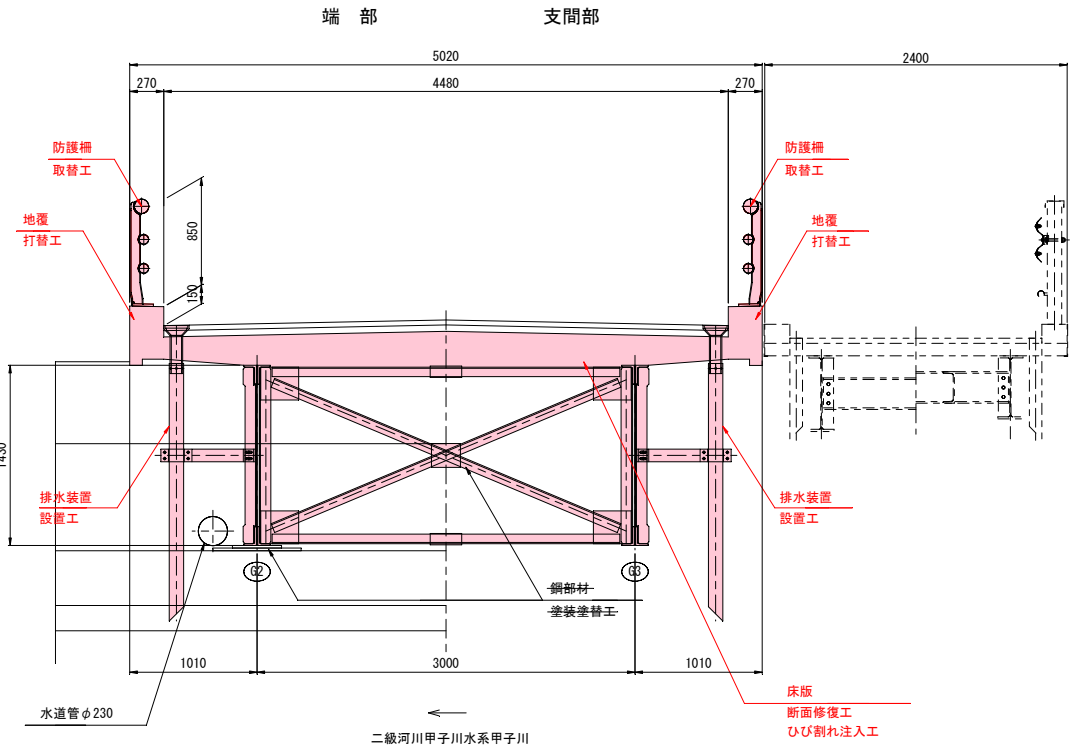
この図面は原図を1/2に縮小して  
いるものであり、図示される縮尺  
は原図に対するものである。

五葉橋（車道部） 補修一般図

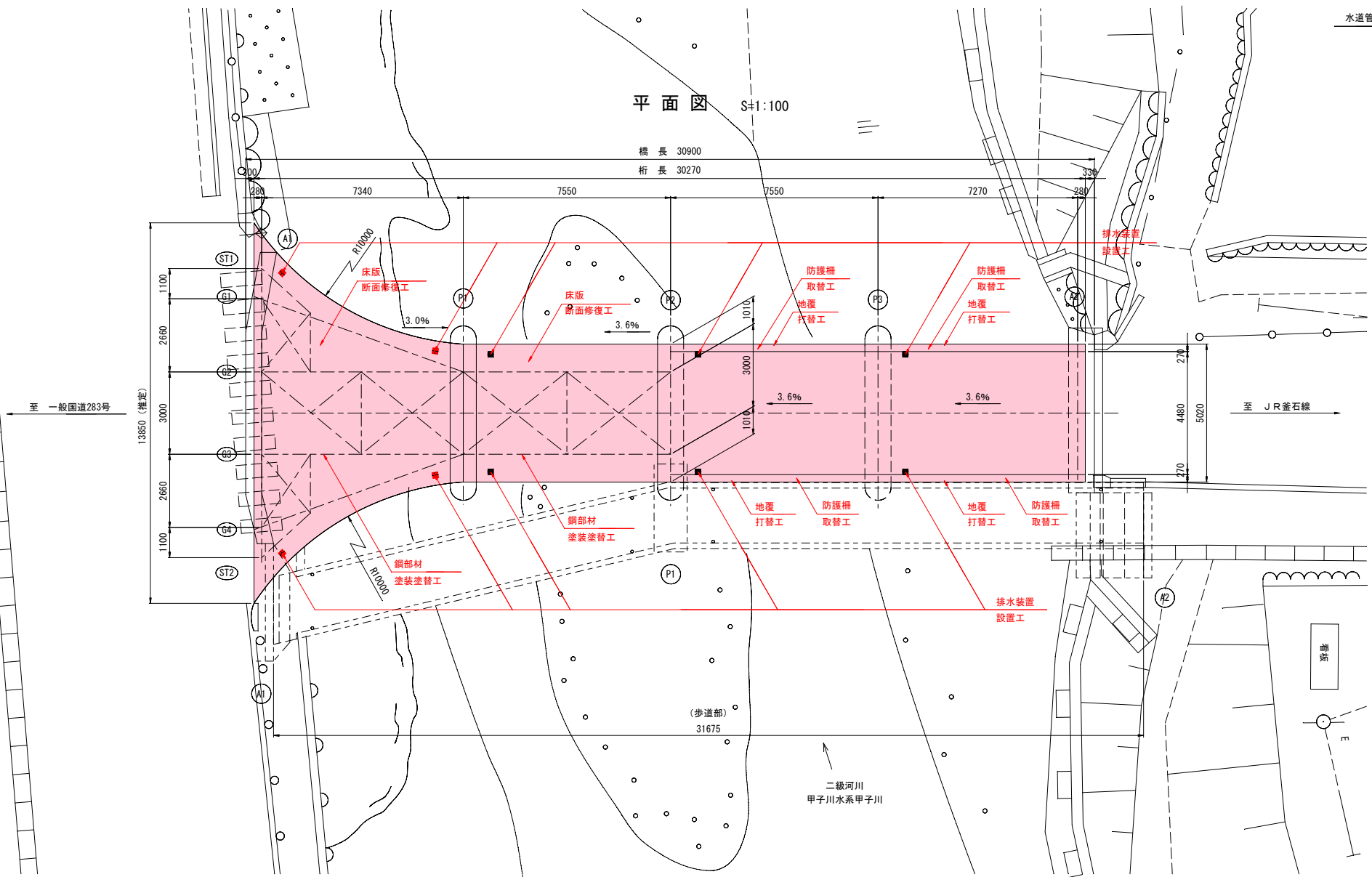
側面図 S=1:100



断面図 S=1:30



平面図 S=1:100



補修一覧表

部 材 名		補 修 工 法	備 考
上部工	床版	断面修復工 ひび割れ注入工	ポリマーセメントモルタル エポキシ樹脂系
	鋼部材	塗装塗替工	Ro-1 塗装系
下部工	A1橋台	断面修復工 ひび割れ注入工 コンクリート充填工	ポリマーセメントモルタル エポキシ樹脂系 コンクリート
	P1橋脚	断面修復工	ポリマーセメントモルタル
	P2橋脚	断面修復工 ひび割れ注入工	ポリマーセメントモルタル エポキシ樹脂系
	P3橋脚	断面修復工 ひび割れ充填工 コンクリート充填工	ポリマーセメントモルタル エポキシ樹脂 コンクリート
	A2橋台	断面修復工	ポリマーセメントモルタル
	排水装置	設置工	排水樹、VP100
	地覆	打替工	コンクリート
橋面工	防護柵	取替工	橋梁用防護柵 C種

※本図面は、橋梁台帳および現地寸法計測により  
復元したものである。細部の詳細寸法につい  
ては、現地再計測の上決定すること。

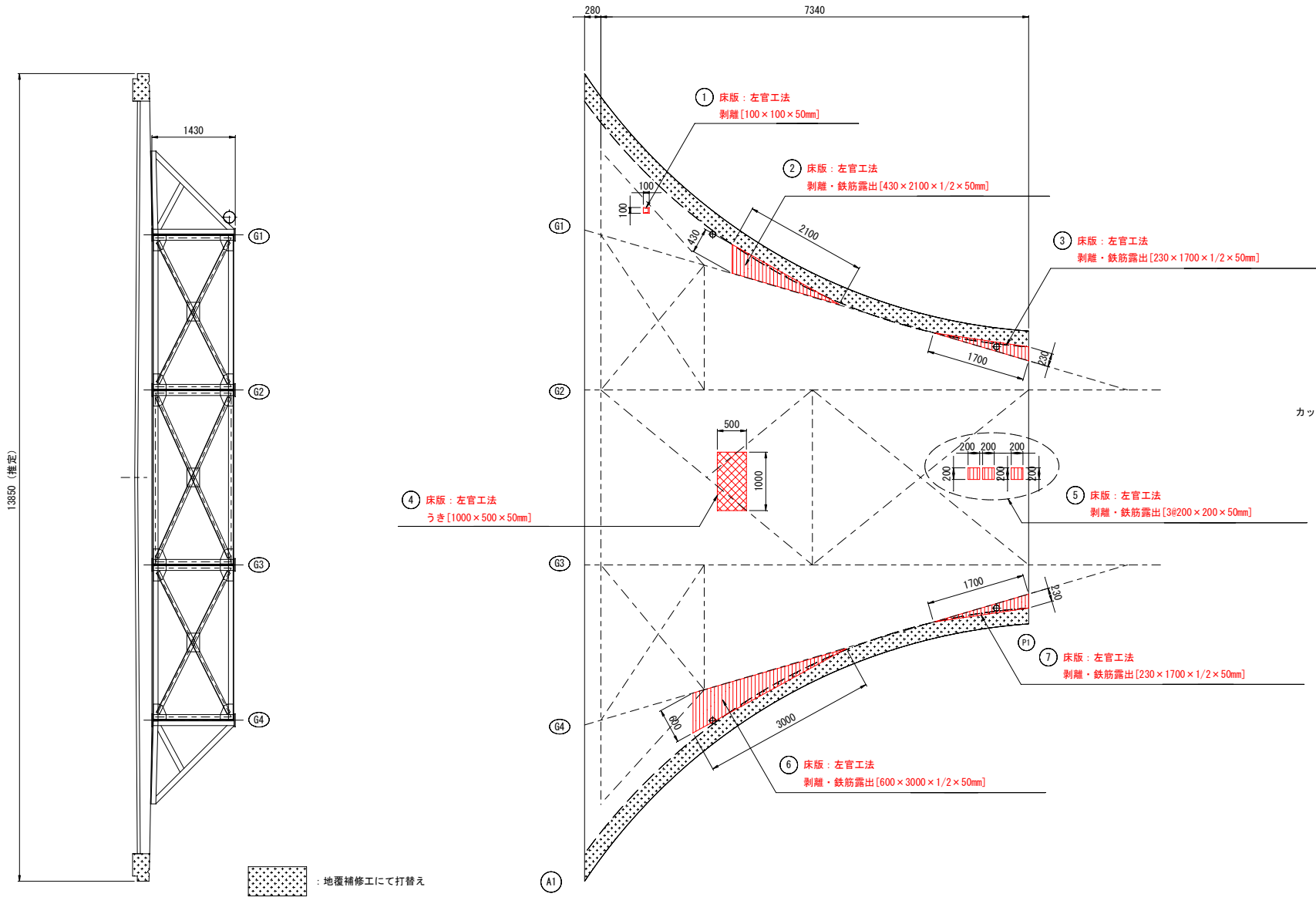
釜 石 市	
市道 大松1号線	岩手県釜石市 甲子町第3地割
全 22 枚 / 中 其 2	五葉橋（車道部） 補修一般図
令和 5 年度	
大松1号線（五葉橋）橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

この図面は原図を1/2に縮小して  
いるものであり、図示される縮尺  
は原図に対するものである。

五葉橋（車道部） 床版補修図（その1）

S=1:50

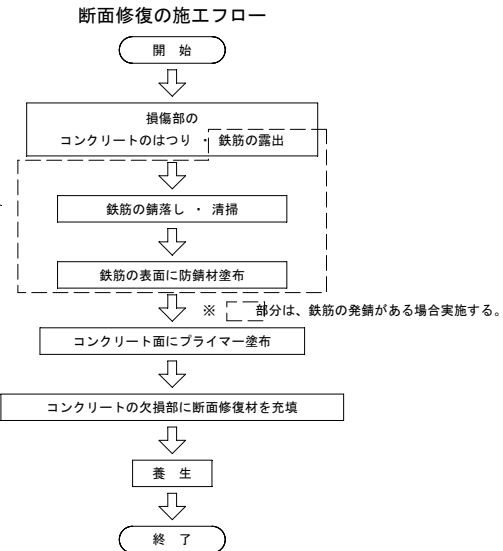
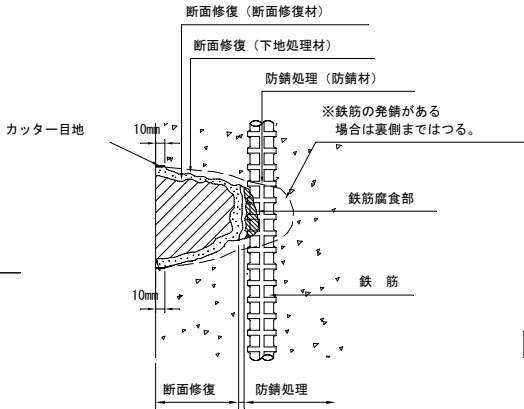
（第1径間 桁下面）



損傷の種類	表 示
ひびわれ	
剥 離	
鉄筋露出	
う き	
そ の 他	

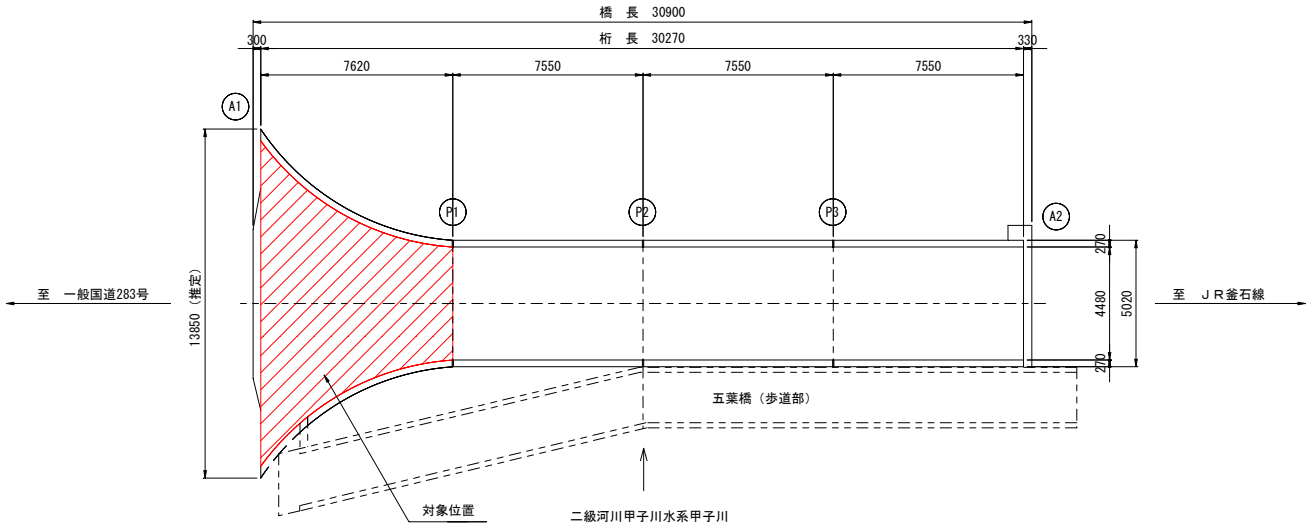
※凡例  
番号 部材：左官工法  
損傷[縦×横×厚さ(mm)]

断面修復工〔左官工法〕



工 種	仕 様
断面修復材	ポリマーセメントモルタル
プライマー	ポリマーセメント系プライマー
防錆材	防錆材入りポリマーセメント系プライマー

位置図 S=1:150



※本図面は、橋梁台帳および現地寸法計測により復元したものである。細部の詳細寸法については、現地再計測の上決定すること。

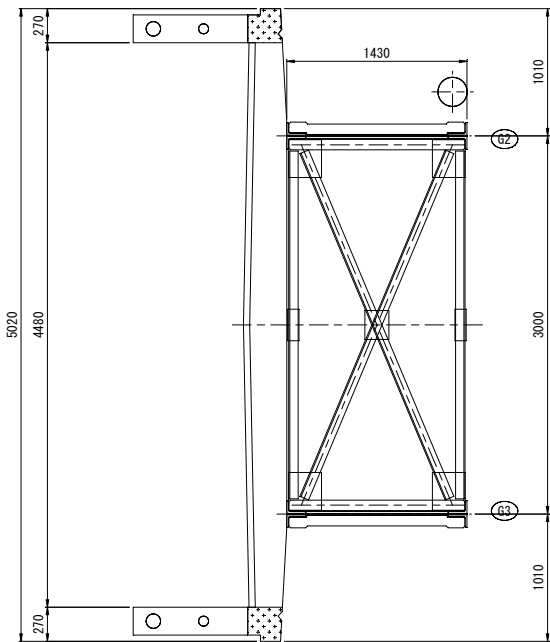
釜 石 市	
市道 大松1号線	岩手県釜石市 甲子町第3地割
全 22 枚ノ中 其 3	五葉橋 (車道部) 床版補修図その1
令和 5 年度	
大松1号線 (五葉橋) 橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

この図面は原図を1/2に縮小しているものであり、図示される縮尺は原図に対するものである。

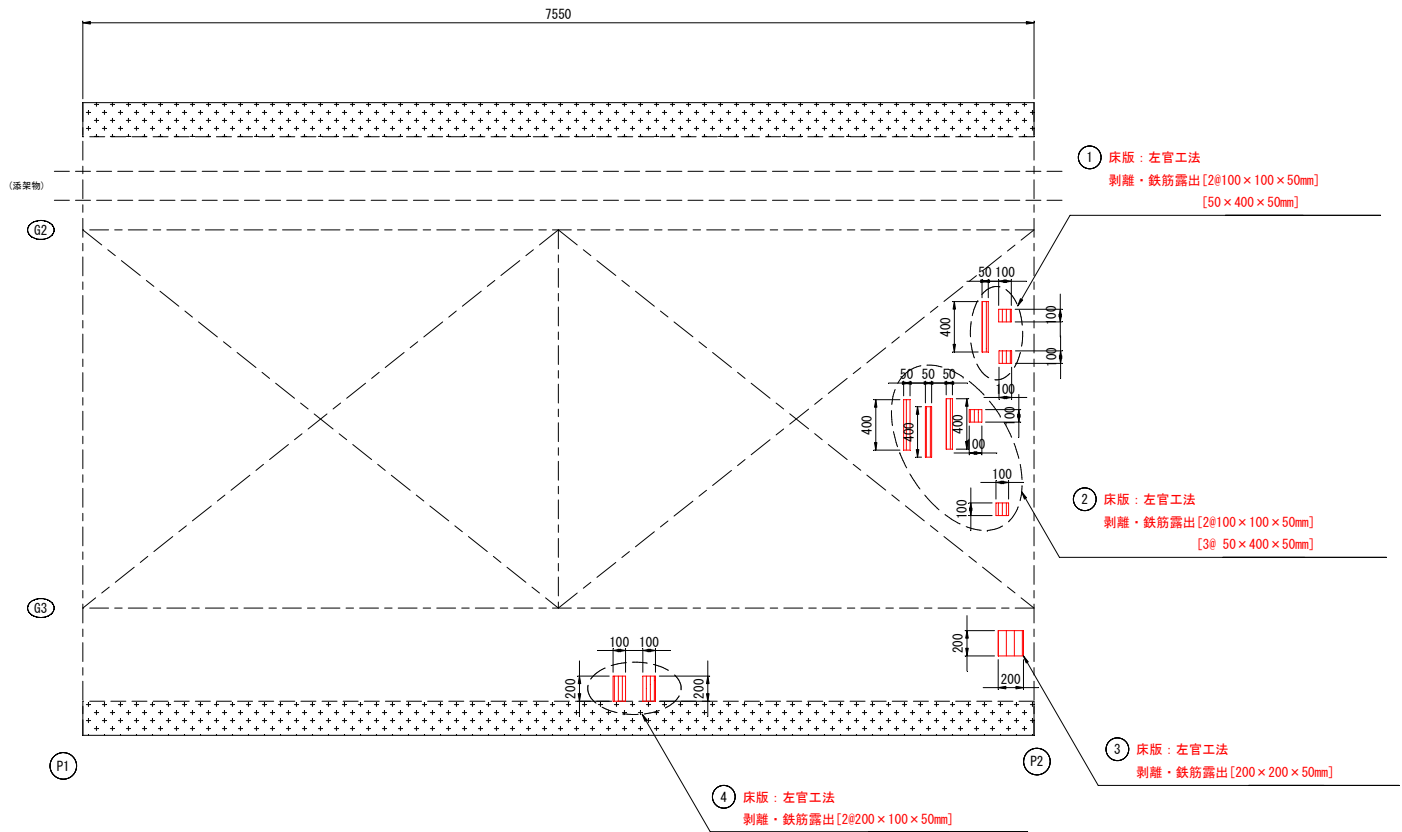
五葉橋（車道部） 床版補修図（その2）

S=1:30

（第2 径間 桁下面）



：地覆補修工にて打替え

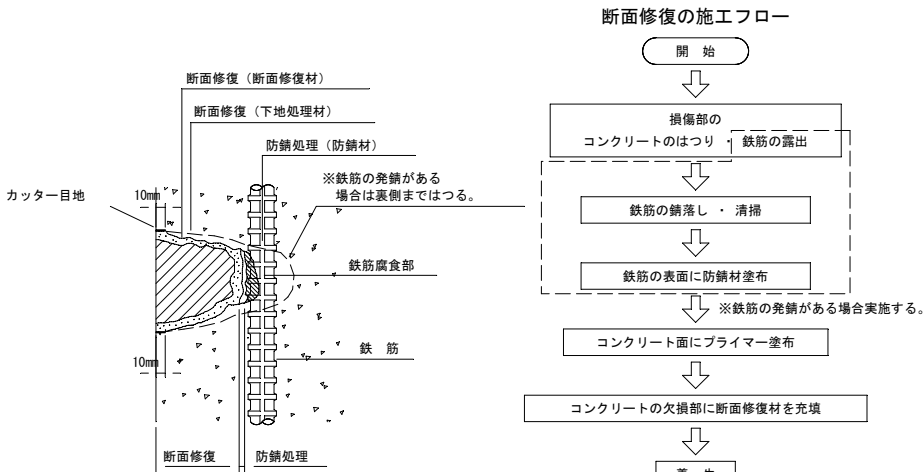


損傷の種類	表 示
ひびわれ	
剥 離	
鉄筋露出	
う き	
そ の 他	

※凡例

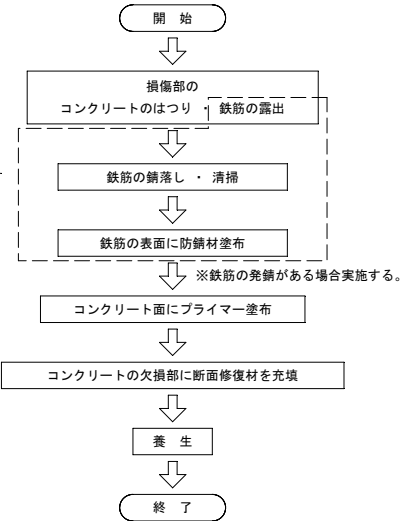
番号 部材：左官工法  
損傷〔縦×横×厚さ(mm)〕

断面修復工〔左官工法〕



※端部はフェザーエッジ防止のため、  
10mm程度の Cutter を入れること。  
※はつり厚は現地計測結果より算出している。  
(50mm程度とする)

断面修復の施工フロー

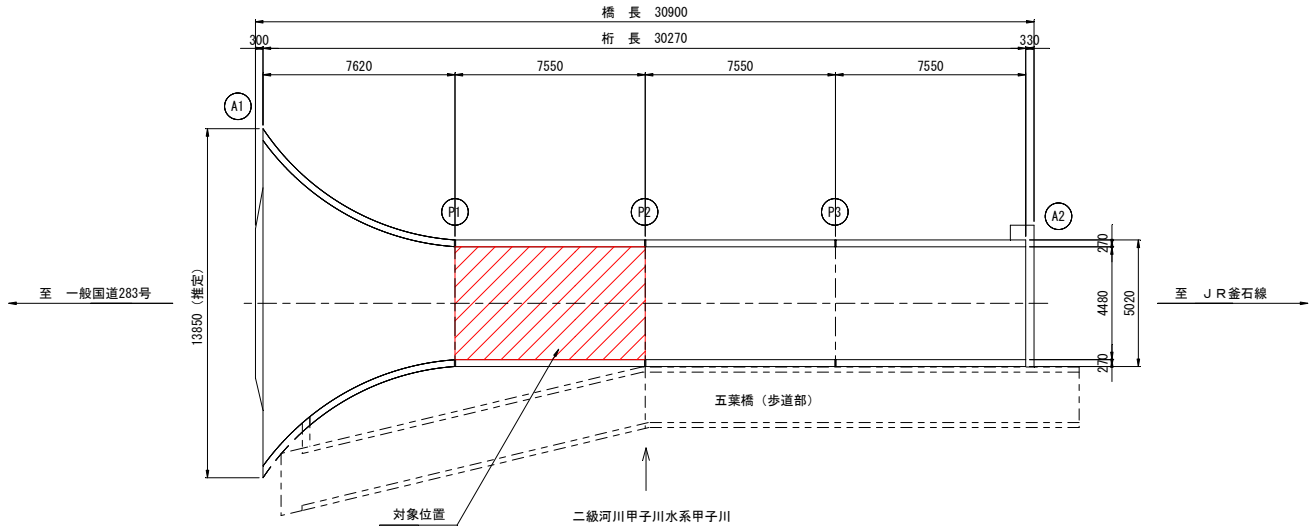


材 料 表

工 種	仕 様
断面修復材	ポリマーセメントモルタル
プライマー	ポリマーセメント系プライマー
防錆材	防錆材入りポリマーセメント系プライマー

位 置 図

S=1:150



※本図面は、橋梁台帳および現地寸法計測により  
復元したものである。細部の詳細寸法につい  
ては、現地再計測の上決定すること。

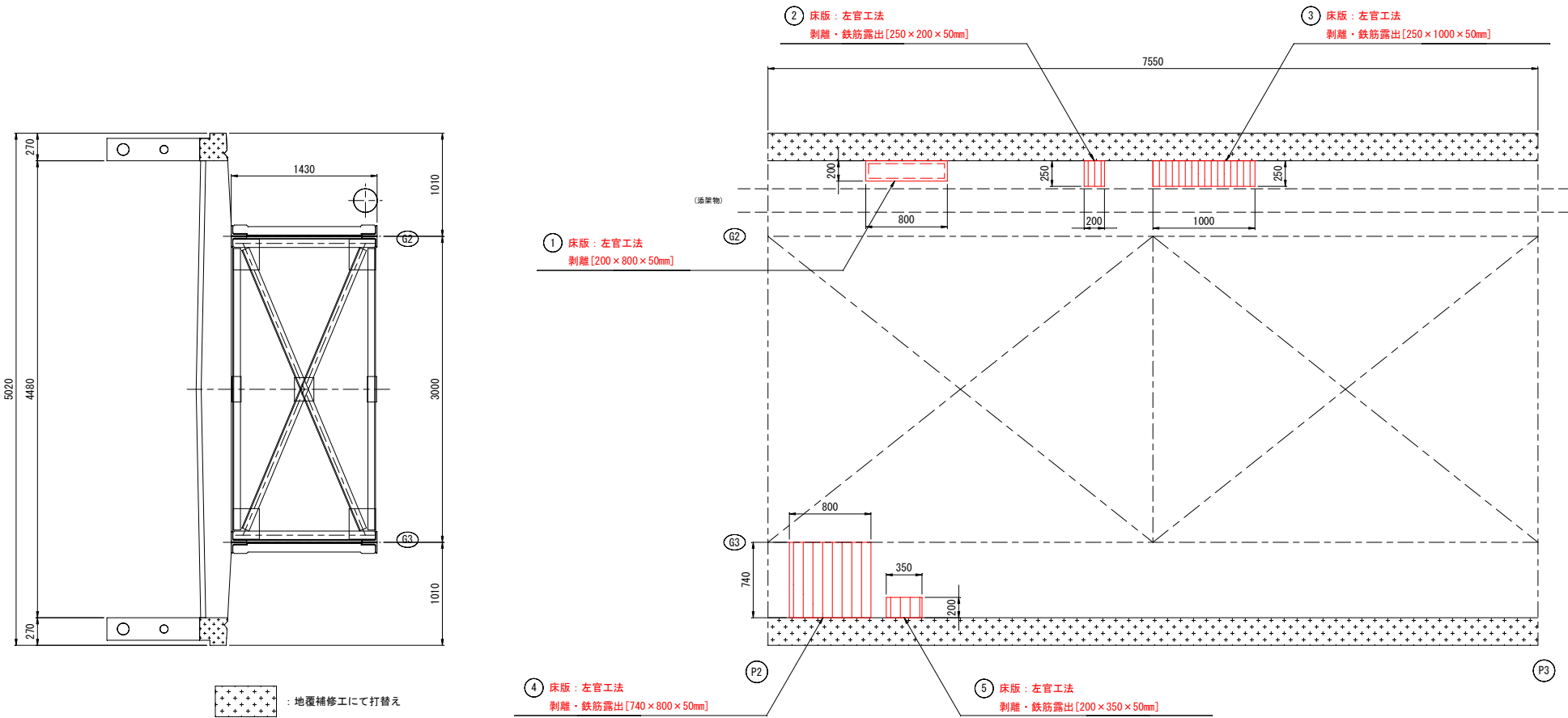
釜 石 市	
市道 大松1号線	岩手県釜石市 甲子町第3地割
全 22 枚ノ中 其 4	五葉橋（車道部） 床版補修図その2
令和 5 年度	
大松1号線（五葉橋）橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

この図面は原図を1/2に縮小して  
いるものであり、図示される縮尺  
は原図に対するものである。

五葉橋（車道部） 床版補修図（その3）

S=1:30

（第3径間 桁下面）

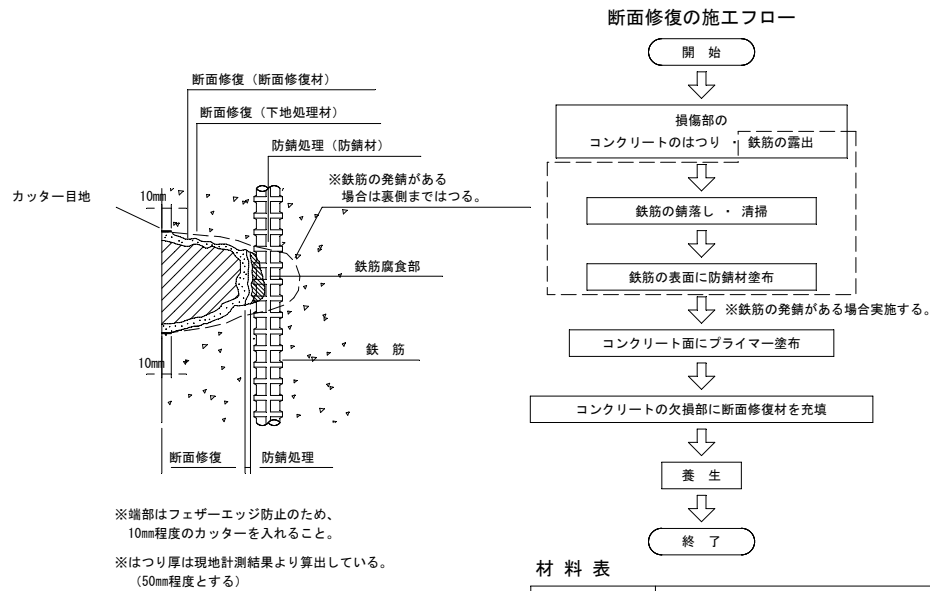


損傷の種類	表 示
ひびわれ	
剥 離	
鉄筋露出	
う き	
そ の 他	

※凡例

番号 部材：左官工法  
損傷[縦×横×厚さ(mm)]

断面修復工〔左官工法〕

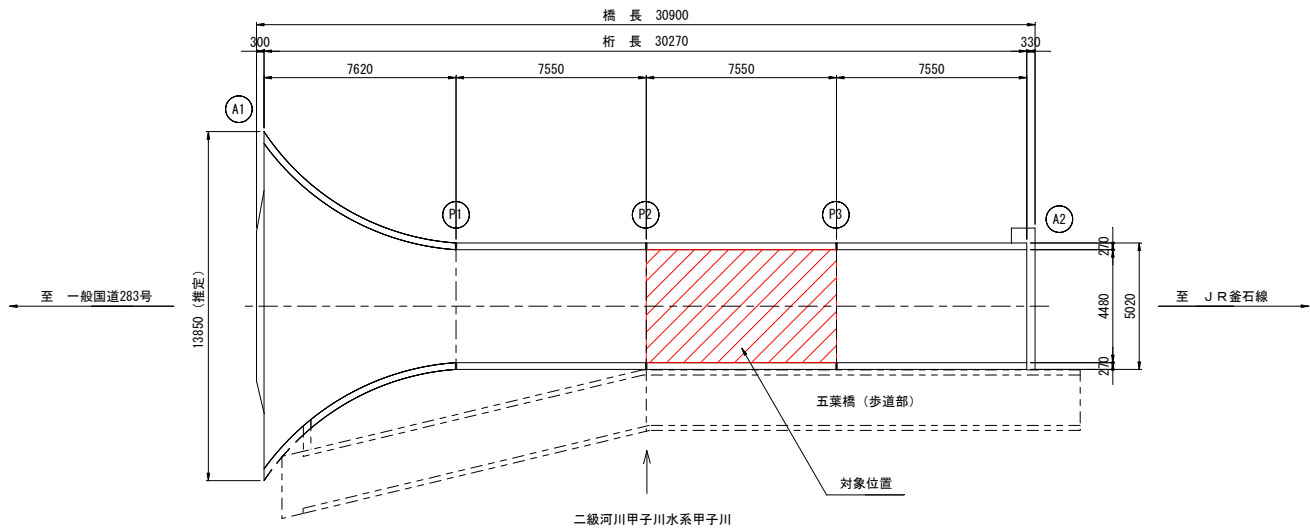


材 料 表

工 種	仕 様
断面修復材	ポリマーセメントモルタル
プライマー	ポリマーセメント系プライマー
防錆材	防錆材入りポリマーセメント系プライマー

位 置 図

S=1:150








※本図面は、橋梁台帳および現地寸法計測により復元したものである。細部の詳細寸法については、現地再計測の上決定すること。

釜 石 市	
市道 大松1号線	岩手県釜石市 甲子町第3地割
全 22 枚/中 其 5	五葉橋（車道部） 床版補修図その3
令和 5 年度	
大松1号線（五葉橋）橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

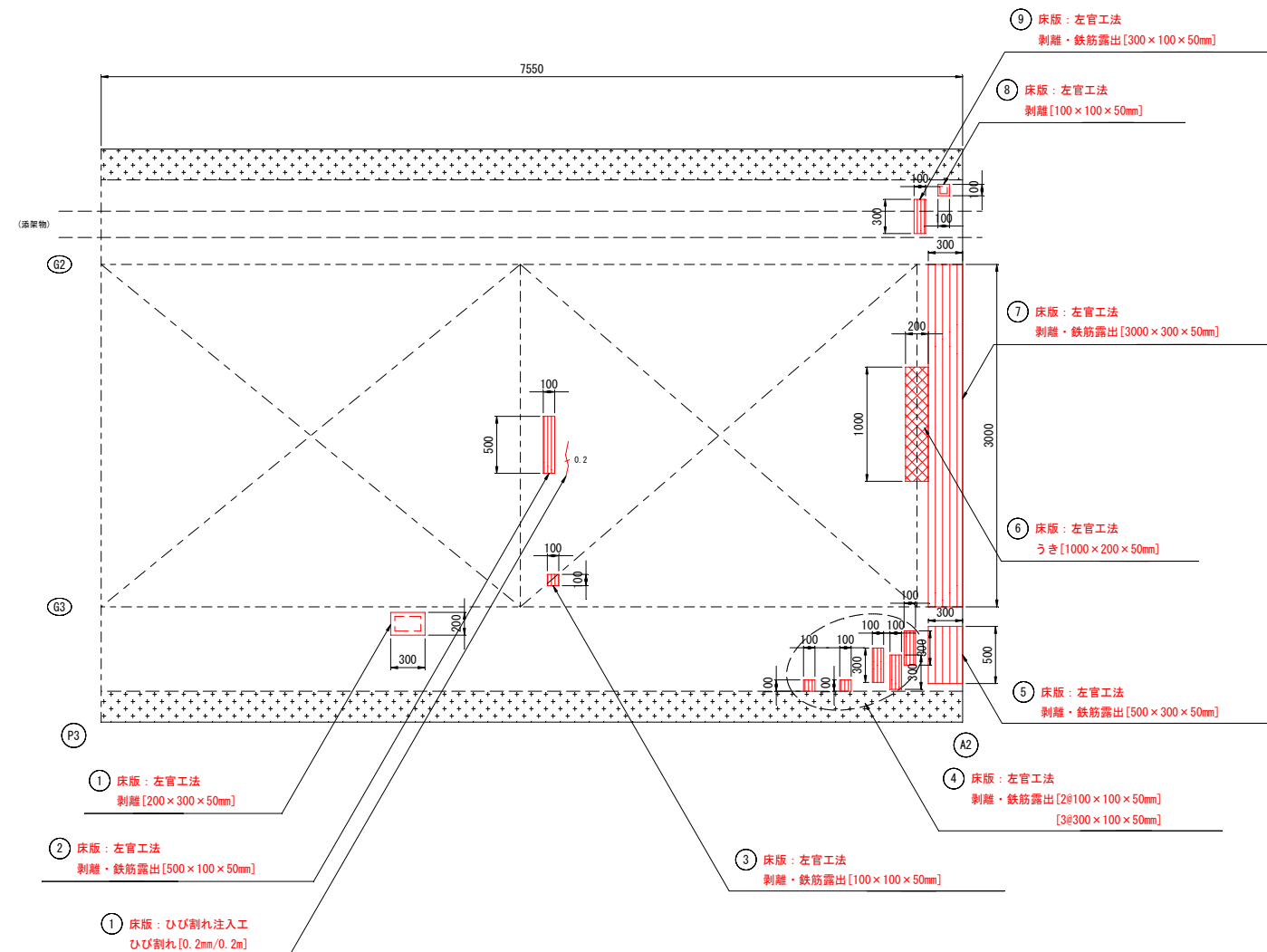
この図面は原図を1/2に縮小して  
いるものであり、図示される縮尺  
は原図に対するものである。

S=1 : 30

損傷の種類	表 示
ひびわれ	
剥 離	
鉄筋露出	
う き	
そ の 他	

番号 部材：左官工法  
損傷[縦×横×厚さ(mm)]

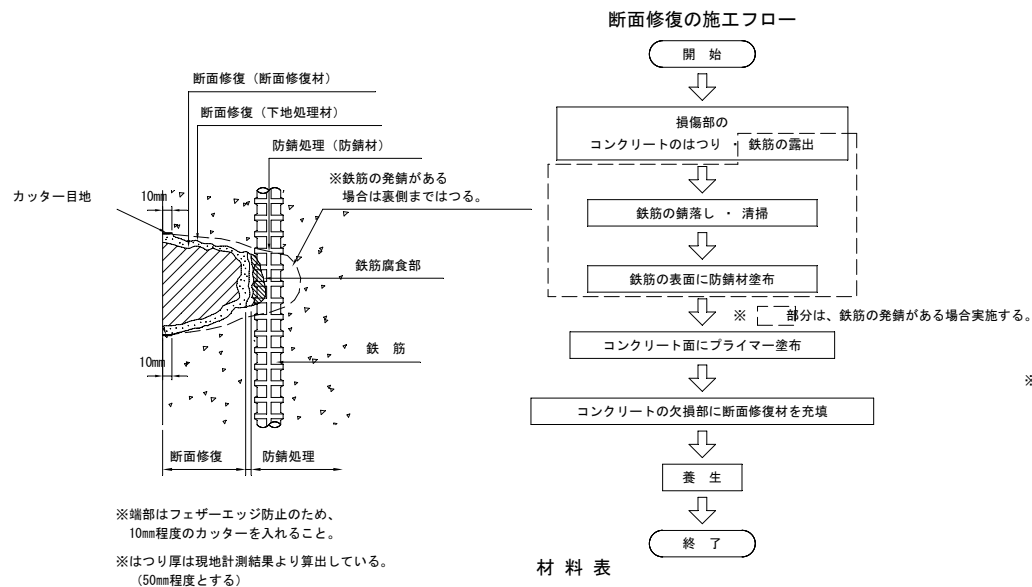
番号 部材：ひび割れ注入工  
損傷[幅(mm)/長さ(m)]



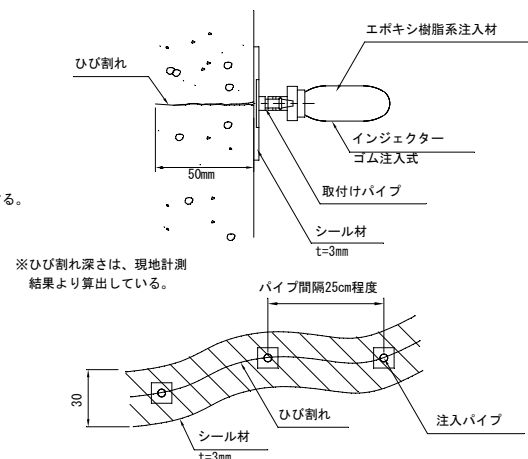
位置図 S=1:150

(ひび割れ幅 0.2mm 以上 1.0mm 未満)  
(注入圧力0.4MPa以下の低圧低速注入工法)

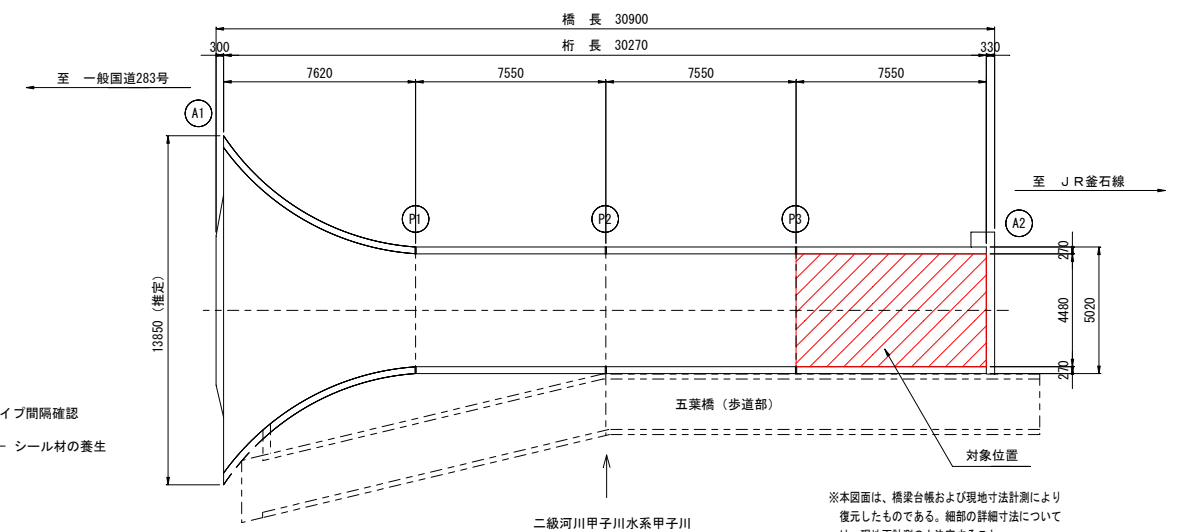
開始



工 種	仕 様
断面修復材	ポリマーセメントモルタル
プライマー	ポリマーセメント系プライマー
防錆材	防錆材入りポリマーセメント系プライマー



工 種	仕 様
注入材	エポキシ樹脂系注入材
シール材	エポキシ樹脂系シール材



※本図面は、橋梁台帳および現地寸法計測により復元したものである。細部の詳細寸法については、現地再計測の上決定すること。

釜 石 市	
市道 大松1号線	岩手県釜石市 甲子町第3地割
全 22 枚 / 中 其 6	五葉橋（車道部） 床版補修図その4
令和 5 年度	
大松1号線（五葉橋）橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

この図面は原図を1/2に縮小して  
いるものであり、図示される縮尺  
は原図に対するものである。

五葉橋（車道部） 床版補修図（その5）

数量表

第1径間 断面補修工 数量表

工法	箇所	寸 法							数 量		
左官工法	第1径間	①	0.100	×	0.100	×	0.050		=	0.0005 m3	
		②	0.430	×	2.100	×	0.050	×	0.5	=	0.0226 m3
		③	0.230	×	1.700	×	0.050	×	0.5	=	0.0098 m3
		④	1.000	×	0.500	×	0.050			=	0.0250 m3
		⑤	0.200	×	0.200	×	0.050	×	3	=	0.0060 m3
		⑥	0.600	×	3.000	×	0.050	×	0.5	=	0.0450 m3
		⑦	0.230	×	1.700	×	0.050	×	0.5	=	0.0098 m3
			計							=	0.119 m3

第2径間 断面補修工 数量表

工 法	箇 所	寸 法								数 量		
左官工法	第2径間	①	0.100	×	0.100	×	0.050	×	2	=	0.0010 m3	
			0.400	×	0.050	×	0.050			=	0.0010 m3	
		②	0.100	×	0.100	×	0.050	×	2	=	0.0010 m3	
			0.400	×	0.050	×	0.050	×	3	=	0.0030 m3	
		③	0.200	×	0.200	×	0.050			=	0.0020 m3	
		④	0.100	×	0.200	×	0.050	×	2	=	0.0020 m3	
		計									=	0.010 m3

第3径間 断面補修工 数量表

工法	箇所	寸 法						数 量
左官工法	第3径間	①	0.200	×	0.800	×	0.050	= 0.0080 m3
		②	0.250	×	0.200	×	0.050	= 0.0025 m3
		③	0.250	×	1.000	×	0.050	= 0.0125 m3
		④	0.740	×	0.800	×	0.050	= 0.0296 m3
		⑤	0.200	×	0.350	×	0.050	= 0.0035 m3
		計						= 0.056 m3

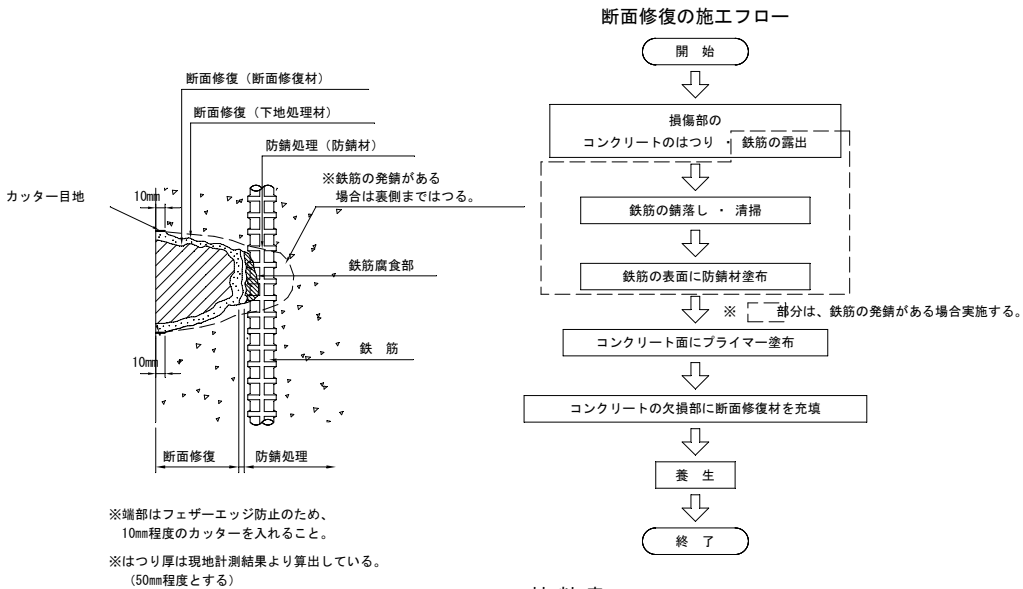
第4径間 断面補修工 数量表

工法	箇所	寸 法						数 量			
左官工法	第4径間	①	0.200	×	0.300	×	0.050	=	0.0030 m3		
		②	0.500	×	0.100	×	0.050	=	0.0025 m3		
		③	0.100	×	0.100	×	0.050	=	0.0005 m3		
		④	0.100	×	0.100	×	0.050	×	2	=	0.0010 m3
			0.300	×	0.100	×	0.050	×	3	=	0.0045 m3
		⑤	0.500	×	0.300	×	0.050	=	0.0075 m3		
		⑥	1.000	×	0.200	×	0.050	=	0.0100 m3		
		⑦	3.000	×	0.300	×	0.050	=	0.0450 m3		
		⑧	0.100	×	0.100	×	0.050	=	0.0005 m3		
		⑨	0.300	×	0.100	×	0.050	=	0.0015 m3		
	計						=	0.076 m3			

工法	箇所	幅 (mm)	延長 (m)	箇所数	数 量
低圧注入工法	第1径間	① 0.2	0.200	1	0.2 m
	床版				
				計	0.2 m

施工標準図

断面修復工〔左官工法〕

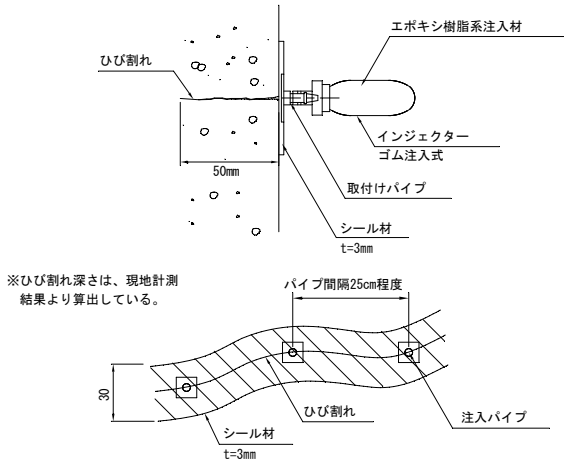


材料表

工 種	仕 様
断面修復材	ポリマーセメントモルタル
プライマー	ポリマーセメント系プライマー
防錆材	防錆材入りポリマーセメント系プライマー

ひび割れ注入工

（ひび割れ幅 0.2mm 以上 1.0mm 未満）  
（注入圧力0.4MPa以下の低圧低速注入工法）



材料表

工 種	仕 様
注入材	エポキシ樹脂系注入材
シール材	エポキシ樹脂系シール材

※本図面は、橋梁台帳および現地寸法計測により復元したものである。細部の詳細寸法については、現地再計測の上決定すること。

釜 石 市	
市道 大松1号線	岩手県釜石市 甲子町第3地割
全 22 枚ノ中 其 7	五葉橋（車道部） 床版補修図その5
令和 5 年度	
大松1号線（五葉橋）橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

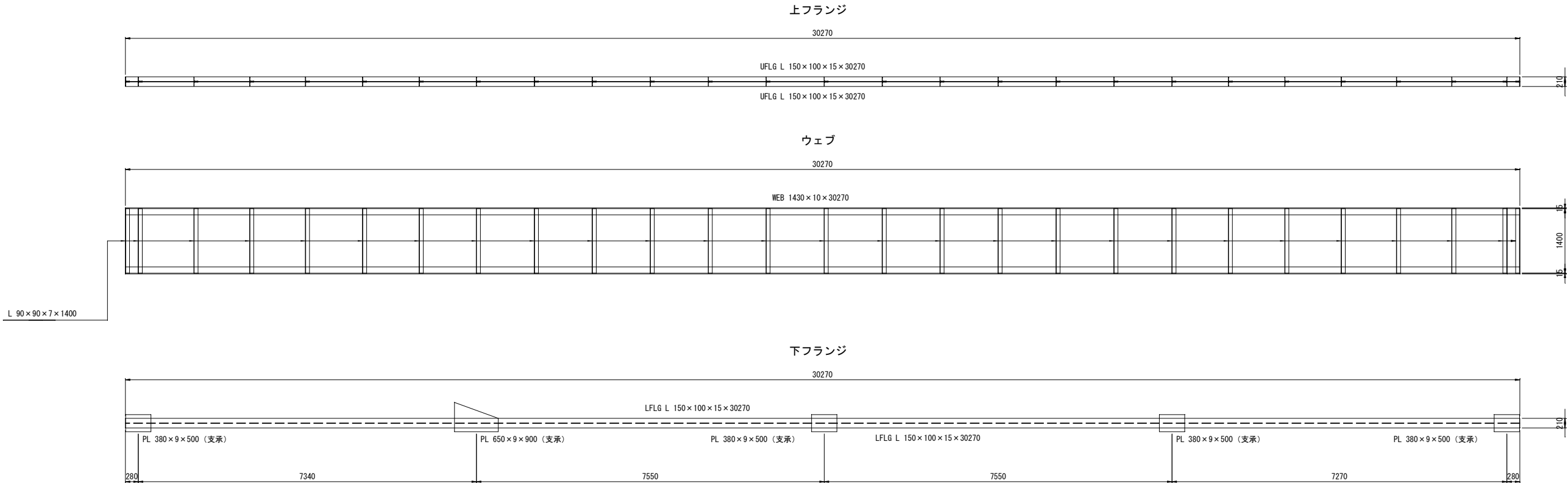
この図面は原図を1/2に縮小して  
いるものであり、図示される縮尺  
は原図に対するものである。



五葉橋（車道部） 鋼部材補修図（その1）

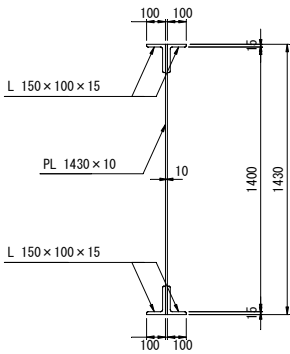
塗装塗替工

主桁詳細図（G2, G3） S=1:50

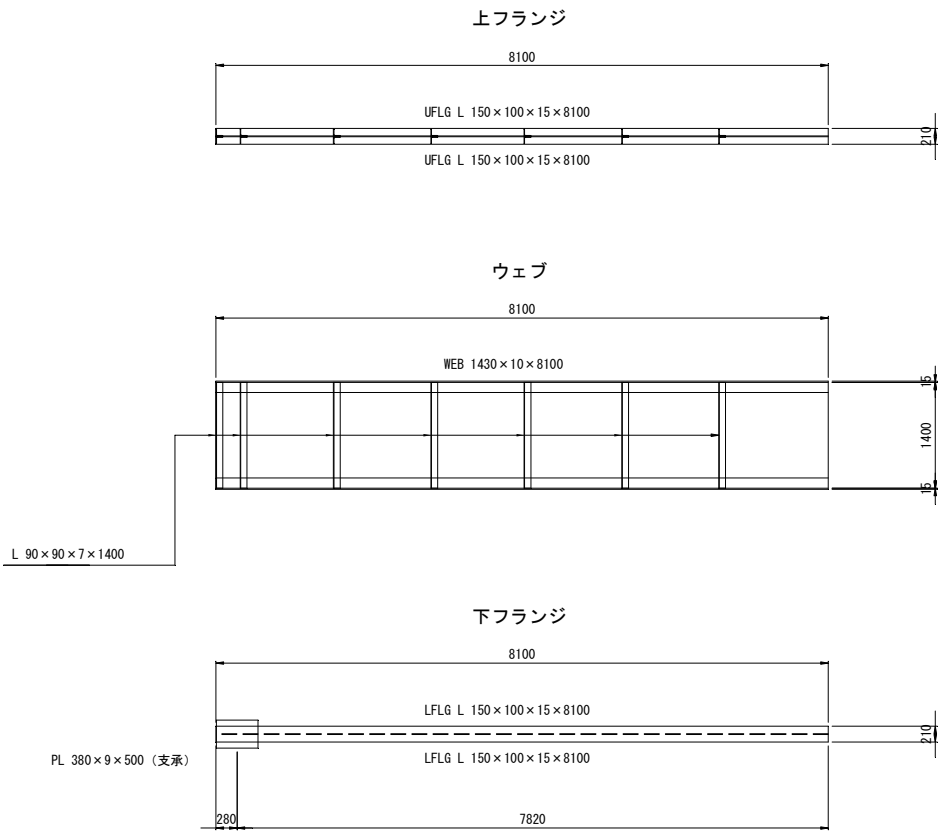


主桁断面図

S=1:20



主桁詳細図（G1, G4） S=1:50



Rc-Ⅰ 塗装系（スプレー）

塗装工程	塗 料 名	使用量 (g/m <sup>2</sup> )	塗装間隔
素地調整	1 種		4時間以内
下 塗	有機ジンクリッチペイント	600	1日～10日
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日～10日
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日～10日
中 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	170	1日～10日
上 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140	1日～10日

公益社団法人 日本道路協会が発行するH26.3「鋼道路橋防食便覧」に準じる。

- 1：原則はスプレー塗装とするが、発注者との協議の上で、はけ、ローラーに変更もできる。
- 2：現場の施工条件に応じて塗装間隔を別途取り決める場合もある。
- 3：プラスト処理による除せい度はISO Sa2 1/2とする。

主桁（G2, G3） 塗装数量（1主桁当たり）（N=2）  
2-UFLG L 150×100×15×30270（20%）  
1-WEB PL 1430×10×30270  
2-LFLG L 150×100×15×30270（40%）  
54-VSTIFF L 90×90×7×1400（50%）

主桁（G1, G4） 塗装数量（1主桁当たり）（N=2）  
2-UFLG L 150×100×15×8100（20%）  
1-WEB PL 1430×10×8100  
2-LFLG L 150×100×15×8100（40%）  
14-VSTIFF L 90×90×7×1400（50%）

支承 塗装数量（全体）  
10-PL 380×9×500  
2-PL 650×9×900（70%）

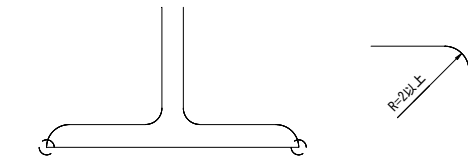
※（ ）内は、塗装面積の割合である。

塗膜調査結果

分析項目	単位	分析結果	定量下限値
水銀又はその化合物	mg/L	0.0005未満	0.0005
カドミウム又はその化合物	mg/L	0.044	0.009
鉛又はその化合物	mg/L	70	0.03
六価クロム化合物	mg/L	0.02未満	0.15
砒素又はその化合物	mg/L	0.003	0.03
熱灼減量	%-dry	30	0.1
鉛	mg/kg	210000	5
六価クロム	mg/kg	0.05未満	5
PCB	mg/kg	5.2	0.01

※PCBの含有が確認できるため、処理方法は発注者と協議のこと。

エッジ部曲面仕上げ



※ エッジ部は膜厚が確保されにくいことから、一般部と同等の塗膜性能を確保するため2R以上の面取りを行い、曲面仕上げとすること。  
（下フランジエッジ部：下側2角を対象とする）

この図面は原図を1/2に縮小しているものであり、図示される縮尺は原図に対するものである。

※本図面は、橋梁台帳および現地寸法計測により復元したものである。細部の詳細寸法については、現地再計測の上決定すること。

釜 石 市	
市道 大松1号線	岩手県釜石市 甲子町第3地割
全 22 枚ノ中 其 8	五葉橋（車道部） 鋼部材補修図その1
令和 5 年度	
大松1号線（五葉橋）橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

8  
25

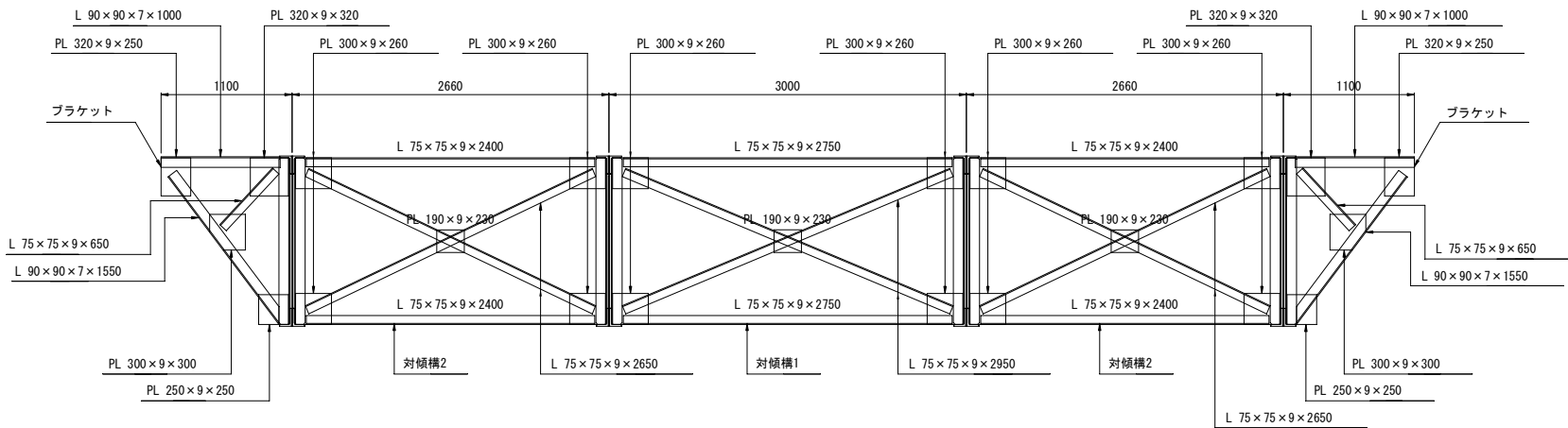


五葉橋（車道部） 鋼部材補修図（その2）

塗装塗替工

対傾構、ブラケット（A-A）

S=1:30



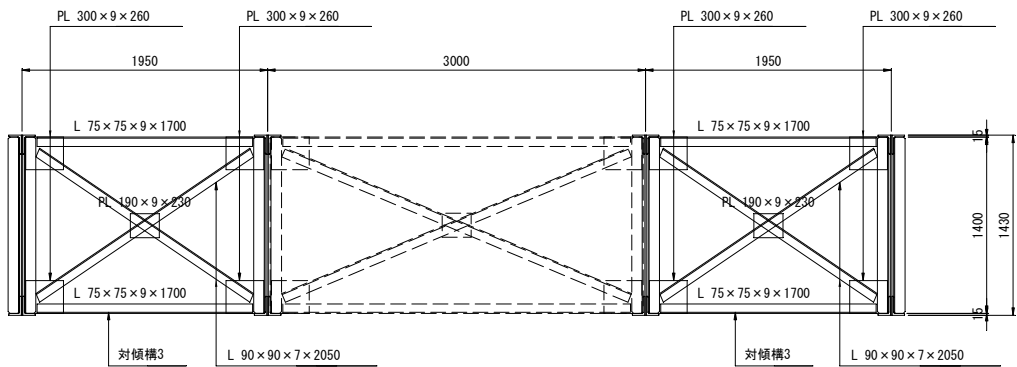
ブラケット 塗装数量 (N=2) 1組当たり  
1- L 90×90×7×1000 (75%)  
1- L 90×90×7×1550  
1- L 75×75×9×650  
1-GUSS PL 250×9×250 (70%)  
1-GUSS PL 300×9×250 (75%)  
1-GUSS PL 300×9×300 (75%)  
1-GUSS PL 320×9×320 (70%)

対傾構1 塗装数量 (N=9) 1組当たり  
2- L 75×75×9×2750 (75%)  
2- L 75×75×9×2950  
1-PL 190×9×230 (65%)  
4-PL 300×9×260 (65%)

対傾構2 塗装数量 (N=2) 1組当たり  
2- L 75×75×9×2400 (75%)  
2- L 75×75×9×2650  
1-PL 190×9×230 (65%)  
4-PL 300×9×260 (65%)

対傾構（B-B）

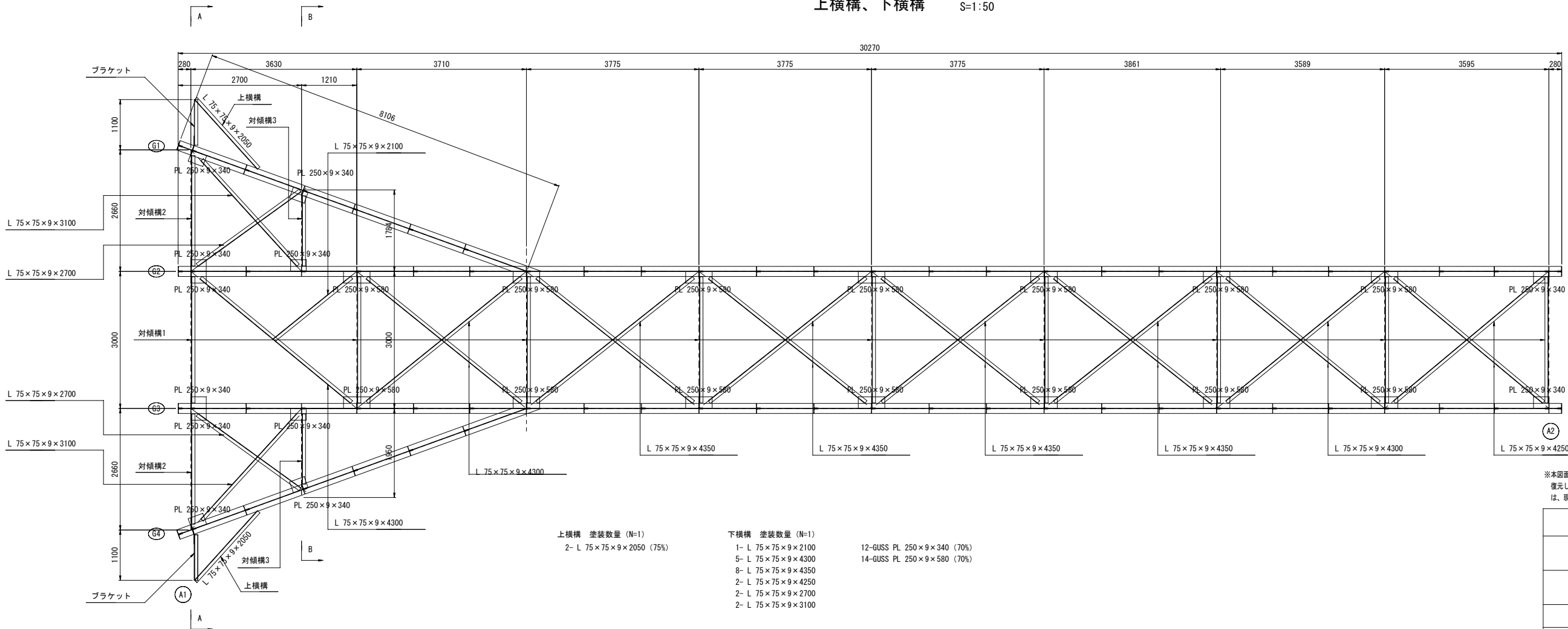
S=1:30



対傾構3 塗装数量 (N=2) 1組当たり  
2- L 75×75×9×1700 (75%)  
2- L 75×75×9×2050  
1-PL 190×9×230 (65%)  
4-PL 300×9×260 (65%)

上横構、下横構

S=1:50



上横構 塗装数量 (N=1)  
2- L 75×75×9×2050 (75%)

下横構 塗装数量 (N=1)  
1- L 75×75×9×2100  
5- L 75×75×9×4300  
8- L 75×75×9×4350  
2- L 75×75×9×4250  
2- L 75×75×9×2700  
2- L 75×75×9×3100

12-GUSS PL 250×9×340 (70%)  
14-GUSS PL 250×9×580 (70%)

※（ ）内は、塗装面積の割合である。

※本図面は、橋梁台構および現地寸法計測により復元したものである。細部の詳細寸法については、現地再計測の上決定すること。

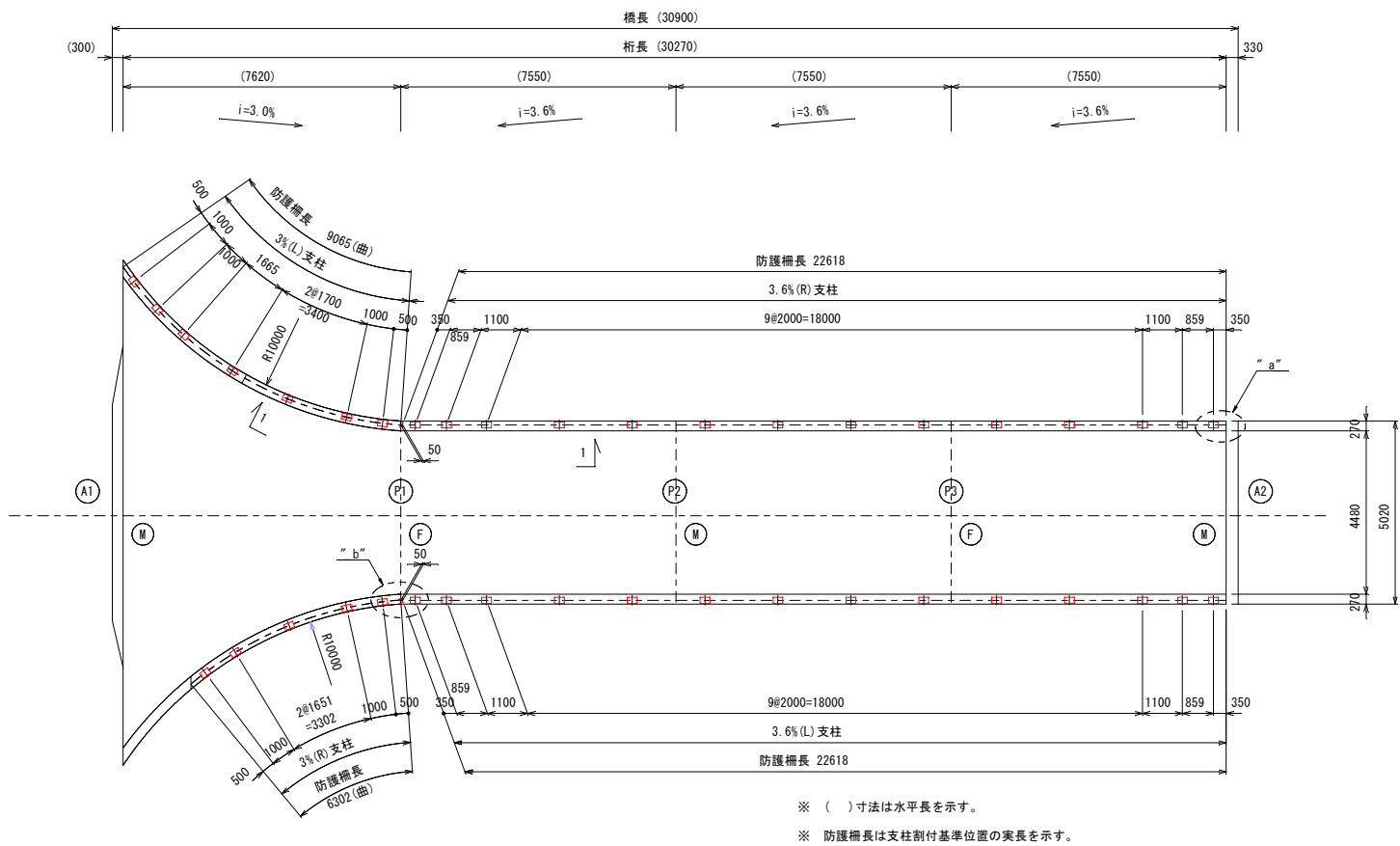
釜石市	
市道 大松1号線	岩手県釜石市 甲子町第3地割
全 22 枚ノ中 其 9	五葉橋（車道部） 鋼部材補修図その2
令和 5 年度	
大松1号線（五葉橋）橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

この図面は原図を1/2に縮小して  
いるものであり、図示される縮尺  
は原図に対するものである。

五葉橋（車道部） 防護柵補修図（参考図）

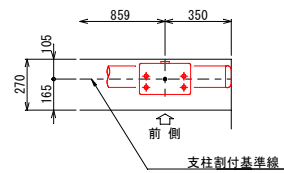
防護柵取替工 車道部

支柱割付平面図 S=1:100

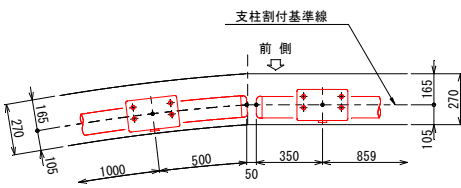


※ ( ) 寸法は水平長を示す。  
※ 防護柵長は支柱割付基準位置の実長を示す。

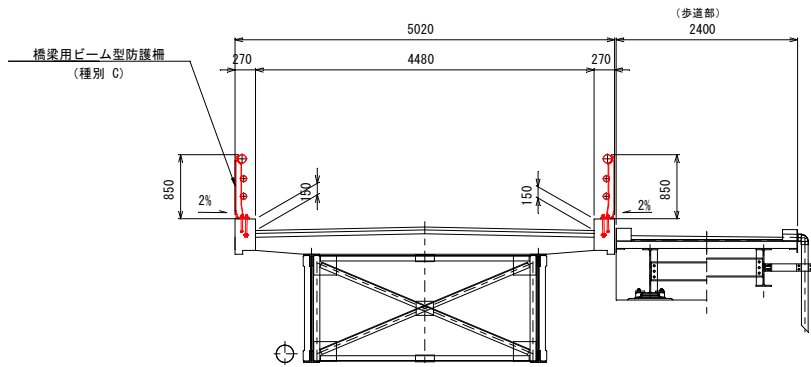
"a" 部詳細図 S=1:20



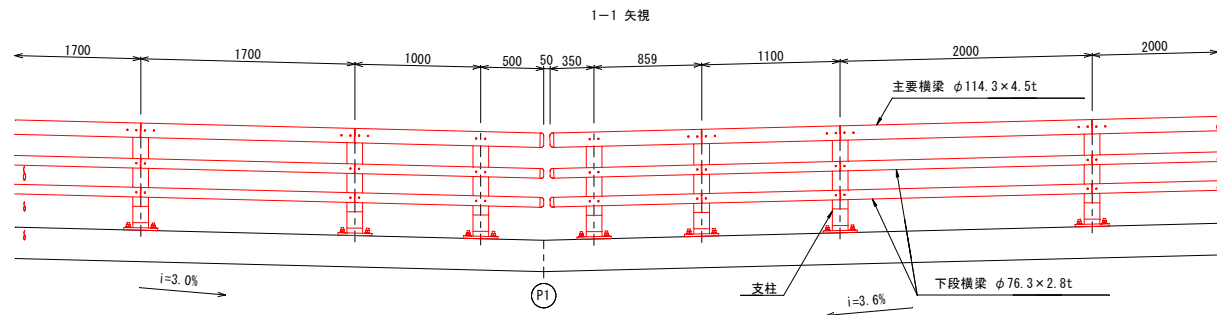
"b" 部詳細図 S=1:20



断面図 S=1:50

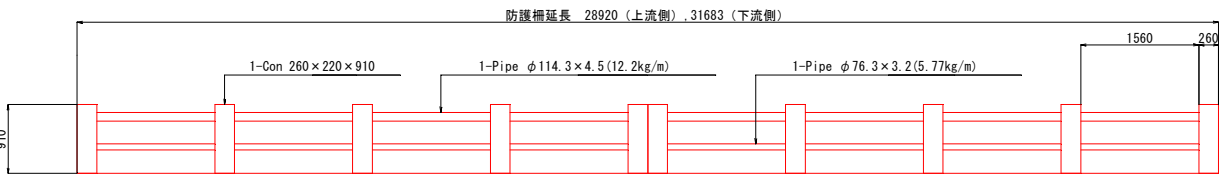


防護柵組立図 S=1:30

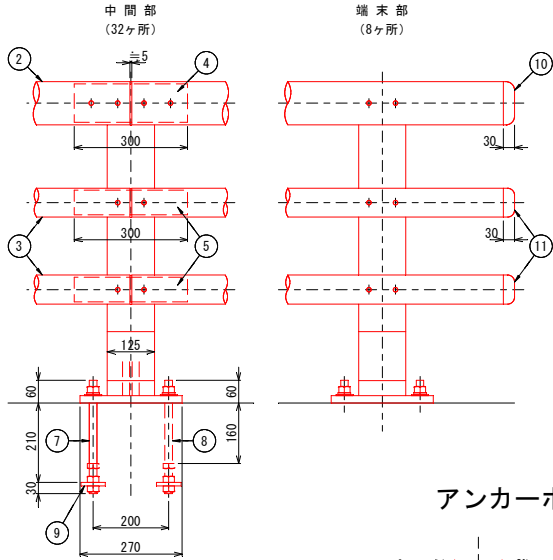
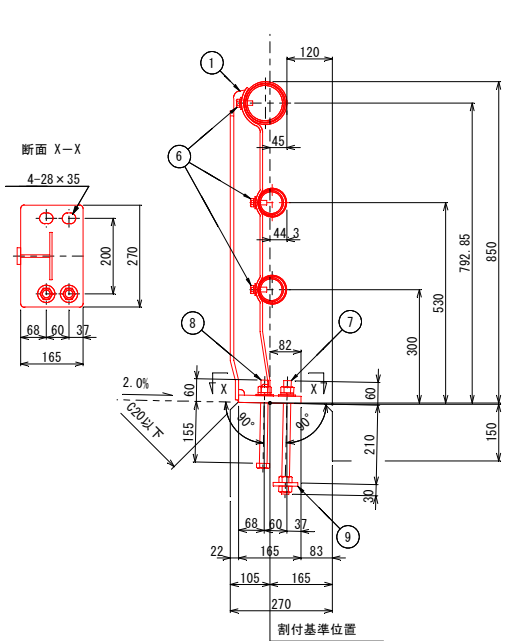


防護柵撤去図 S=1:50

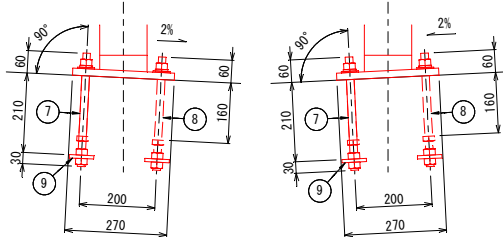
支柱本数 N=41本/橋



橋梁用ビーム型防護柵詳細図 (種別 C) S=1:10



アンカーボルト設置要領図 S=1:10



※ 地覆勾配に対して 90° に設置する。

材料表

（種別 C）塗装仕様						
符号	名 称	寸 法	材 質	単位質量	数 量	質 量
1	支柱	H850×165×125/270	SS400	16.03	40	641.2
2	主要横梁	φ114.3×4.5t	STK400	12.20	60.203 m	734.5
3	下段横梁	φ76.3×2.8t	"	5.08	120.406 m	611.7
4	スリーブ	φ101.6×4.5t×300	"	3.23	32	103.4
5	"	φ65.0×4.0t×300	"	1.80	64	115.2
6	取付ボルト	M12×35	(W1, SW1) 強度区分 6.8 以上	0.06	304	18.2
7	アンカーボルト	I-M20×300	(N3, W1, SW1) "	0.86	80	68.8
8	"	M20×220	(N1, W1, SW1) 強度区分 4.6 以上	0.68	80	54.4
9	アンカープレート	9t×65×65	SS400	0.27	80	21.6
10	キャップ	φ114.3×30	アルミ製	0.47	8	3.8
11	"	φ76.3×30	"	0.24	16	3.8
合 計						2376.6 kg
防護柵長 60.603 m						
・R曲げ (R10m以上 R150m未満) : L = 15.367 m						
・勾配エキストラ (1.5%以上 10%未満) : L = 60.603 m						
※ [ 3.6%(R)支柱 14本, 3.6%(L)支柱 14本, 3%(R)支柱 5本, 3%(L)支柱 7本 ]						

特記) 橋梁用ビーム型防護柵は (一社) 全国高欄協会にて認定された静荷重試験機により性能確認された製品とする。  
特記) 塗装は溶融亜鉛メッキ仕様を標準とする。

注記

- 本防護柵の設計仕様は「防護柵の設置基準・解説」(平成28年12月)による。
- コンクリート設計基準強度は  $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$  とする。

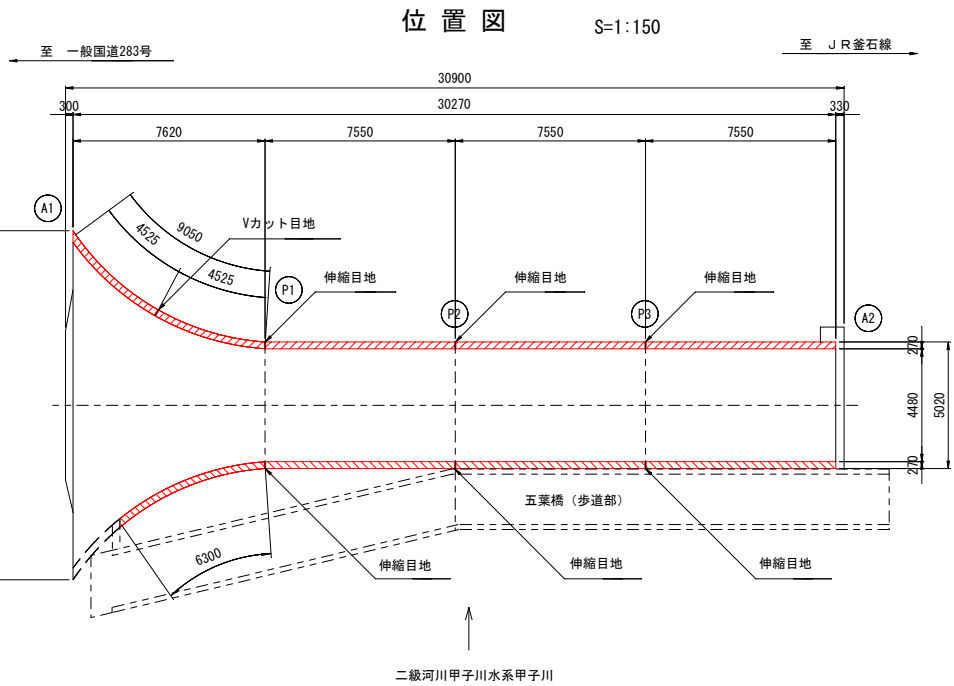
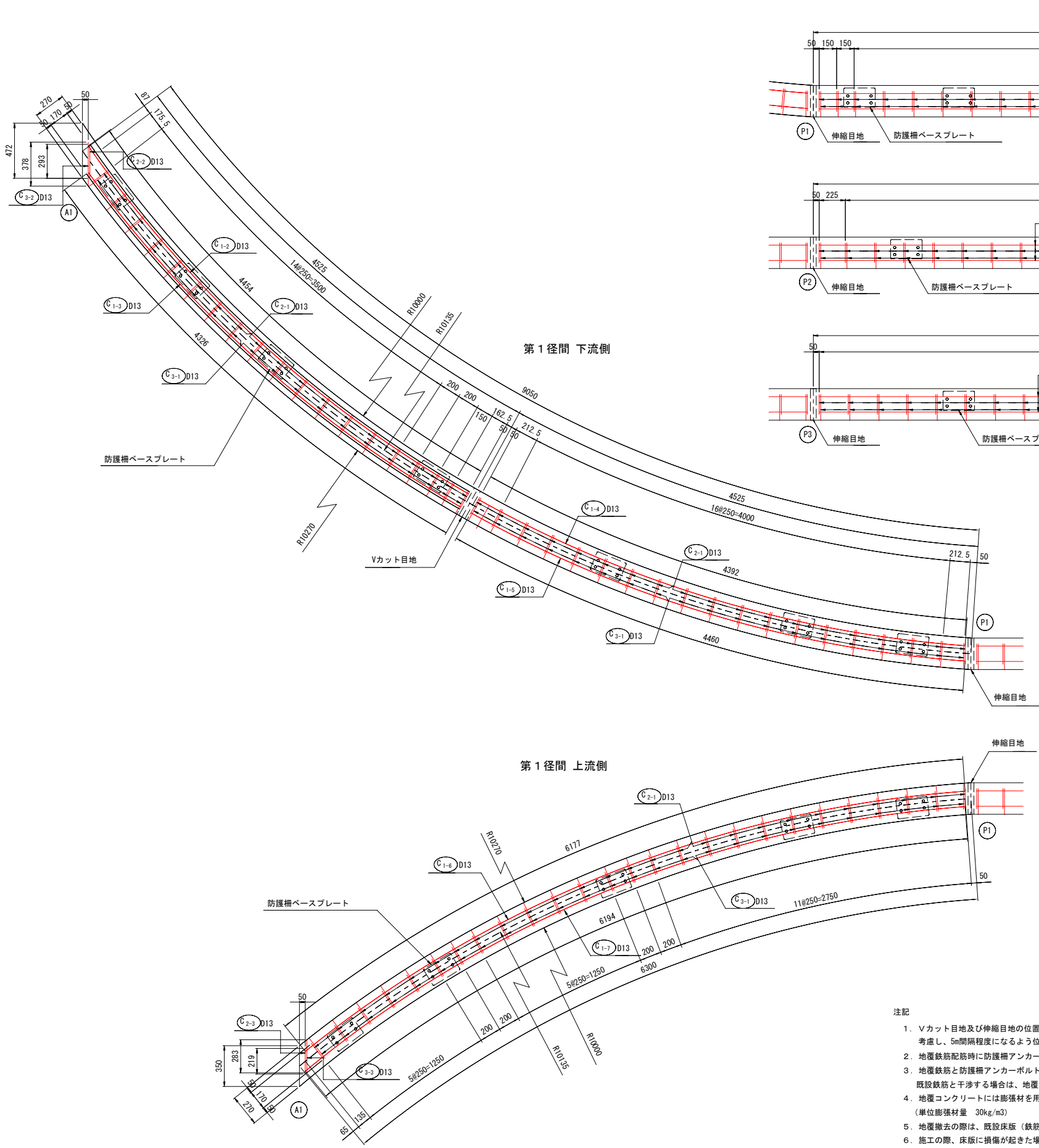
この図面は原図を1/2に縮小して  
いるものであり、図示される縮尺  
は原図に対するものである。

※本図面は、橋梁台帳および現地寸法計測により  
復元したものである。細部の詳細寸法につい  
ては、現地再計測の上決定すること。

釜 石 市	
市道 大松1号線	岩手県釜石市 甲子町第3地割
全 22 枚ノ中 其 10	五葉橋 (車道部) 防護柵補修図 (参考図)
令和 5 年度	
大松1号線 (五葉橋) 橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

五葉橋（車道部） 地覆補修図（その1）

平面図 S=1:20



- 注記
1. Vカット目地及び伸縮目地の位置は、既設鉄筋配置状況・防護柵支柱位置を考慮し、5m間隔程度になるよう位置を最終決定すること。
  2. 地覆鉄筋配筋時に防護柵アンカーボルト、プレートを設置すること。
  3. 地覆鉄筋と防護柵アンカーボルト、プレートが既設鉄筋と干渉する場合は、地覆鉄筋をずらして設置すること。
  4. 地覆コンクリートには膨張材を用いる。  
(単位膨張材量 30kg/m<sup>3</sup>)
  5. 地覆撤去の際は、既設床版（鉄筋）を傷つけないように注意すること。
  6. 施工の際、床版に損傷が起きた場合、監督員と協議し適切な処置を行うこと。

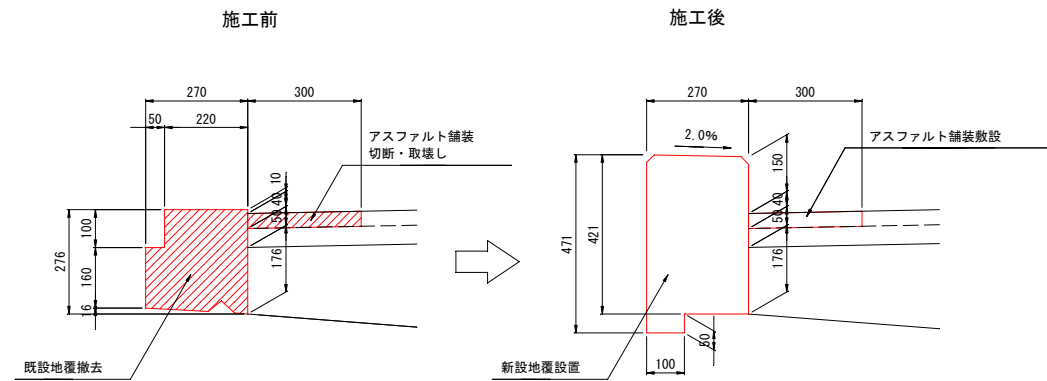
この図面は原図を1/2に縮小して  
いるものであり、図示される縮尺  
は原図に対するものである。

※本図面は、橋梁台帳および現地寸法計測により  
復元したものである。細部の詳細寸法につい  
ては、現地再計測の上決定すること。

釜 石 市	
市道 大松1号線	岩手県釜石市 甲子町第3地割
全 22 枚ノ 其 11	五葉橋（車道部） 地覆補修図その1
令和 5 年度	
大松1号線（五葉橋）橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

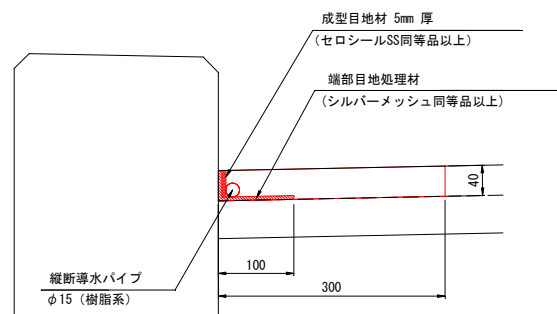
## 五葉橋（車道部） 地覆補修図（その2）

補修概要図 S=1:10

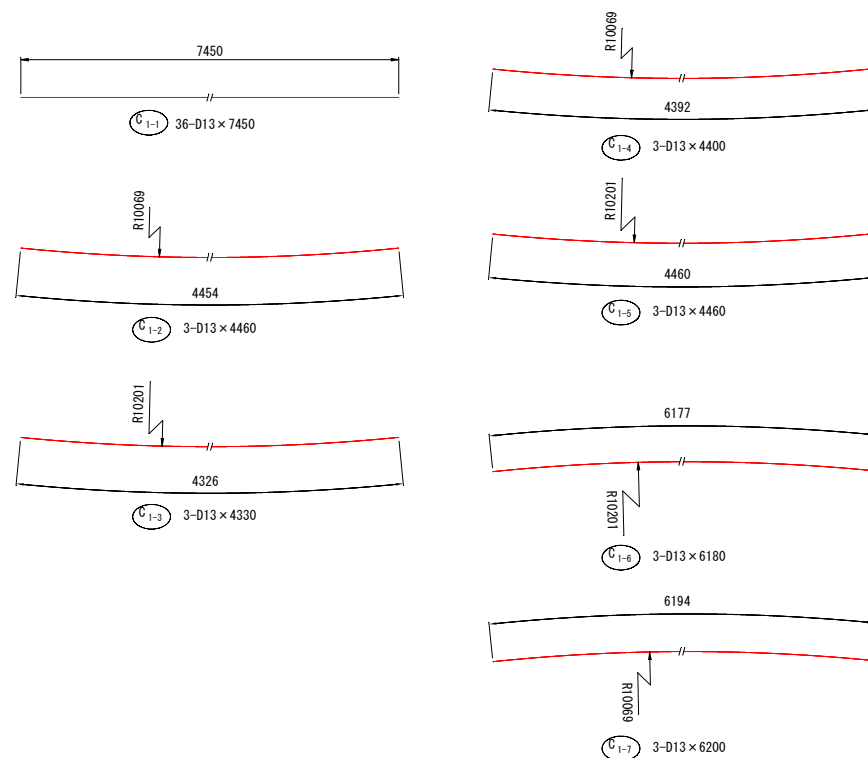


※アスファルト舗装の材料は、再生密粒度As（13F）とする。  
 ※アスファルト舗装敷設する箇所には、防水処理を施すこと。  
 （端部目地処理、成形目地材、縦断導水パイプ）

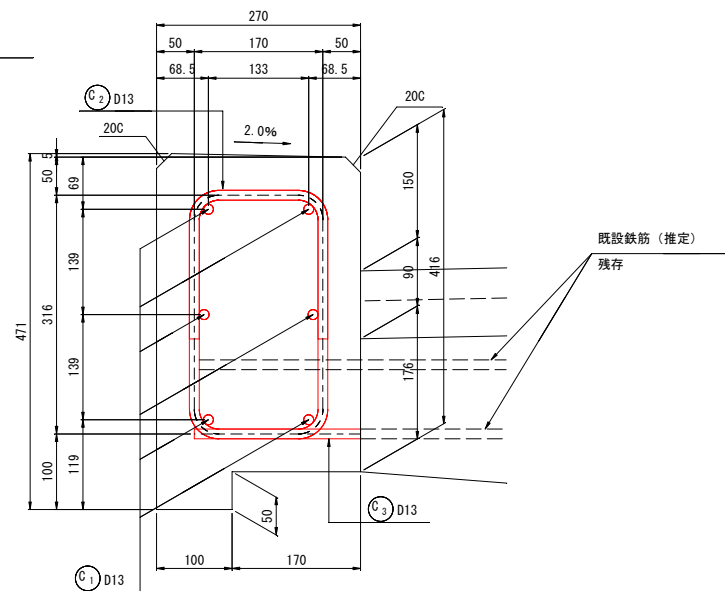
防水処理詳細図 S=1:5



鉄筋加工図 S=1:10

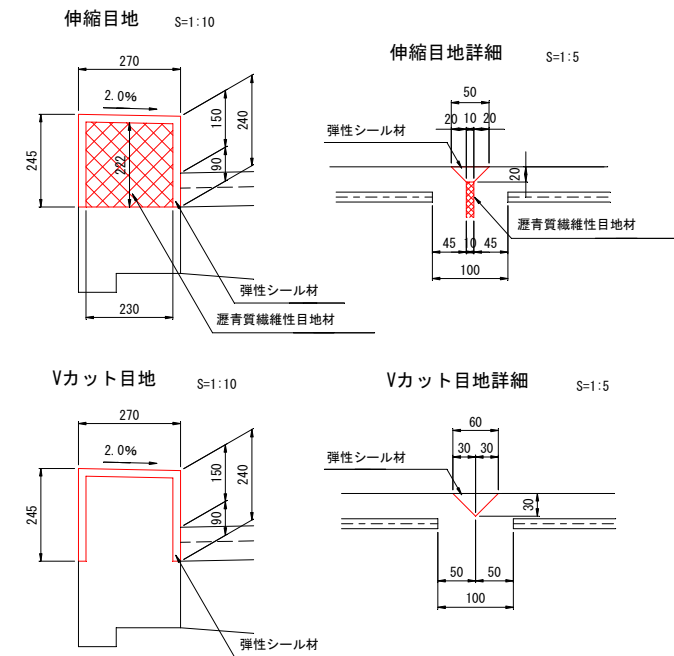


新設地覆詳細図 S=1:5

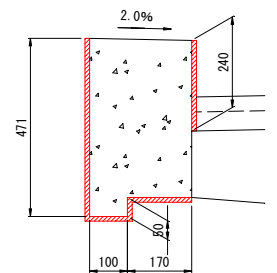


※既設床版鉄筋は推定である。  
※床版に Cutter を入れる際は  
床版鉄筋の切断に注意すること。














目地詳細図



型 棒 S=1:10



## 鉄筋表

記 号	径	長 さ	本 数	単位重量	1本当り重量	重 量	形 状
C 1-1	D13	7450	36	0.995	7.41	267	
C 1-2	"	4460	3	"	4.44	13	
C 1-3	"	4330	3	"	4.31	13	
C 1-4	"	4400	3	"	4.38	13	
C 1-5	"	4460	3	"	4.44	13	
C 1-6	"	6180	3	"	6.15	18	
C 1-7	"	6200	3	"	6.17	19	
C 2-1	"	760	252	"	0.76	192	
C 2-2	"	1010	1	"	1.00	1	
C 2-3	"	860	1	"	0.86	1	
C 3-1	"	810	252	"	0.81	204	
C 3-2	"	1090	1	"	1.08	1	
C 3-3	"	920	1	"	0.92	1	
合 計							
					D13	756	kg

## 材料表

工 種	仕 様
打替工	コンクリート 24-12-25-55

注記

1. Vカット目地及び伸縮目地の位置は、既設鉄筋配置状況・防護欄支柱位置を考慮し、5m間隔程度になるよう位置を最終決定すること。
2. 地覆鉄筋設置時に防護欄アンカーボルト、プレートを設置すること。
3. 地覆鉄筋と防護欄アンカーボルト、プレートが既設鉄筋と干渉する場合は、地覆鉄筋をずらして設置すること。
4. 地覆コンクリートには膨張材を用いる。  
(単位膨張材量 30kg/m<sup>3</sup>)
5. 地覆撤去の際は、既設鉄版（鉄筋）を傷つけないように注意すること。
6. 施工の際、鉄版に損傷が起きた場合、監督員と協議し適切な処置を行うこと。

この図面は原図を1/2に縮小して  
いるものであり、図示される縮尺  
は原図に対するものである。

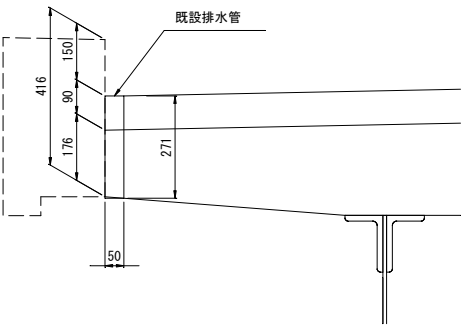
※本図面は、橋梁台帳および現地寸法計測により復元したものである。細部の詳細寸法については、現地再計測の上決定すること。

釜 石 市	
市道 大松1号線	岩手県釜石市 甲子町第3地割
全 22 枚 / 中 其 12	五葉橋（単道部） 地覆補修図その2
令和 5 年度	
大松1号線（五葉橋）橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

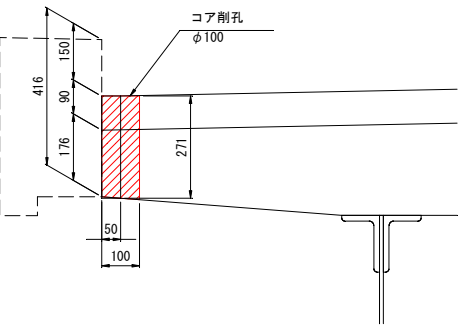
五葉橋（車道部）排水装置補修図

既設排水樹埋め立て S=1:10

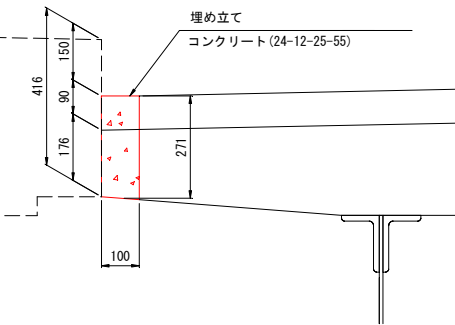
1. 現況



2. 既設排水装置撤去

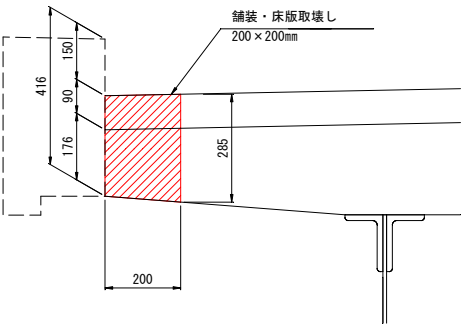


3. 埋め立て

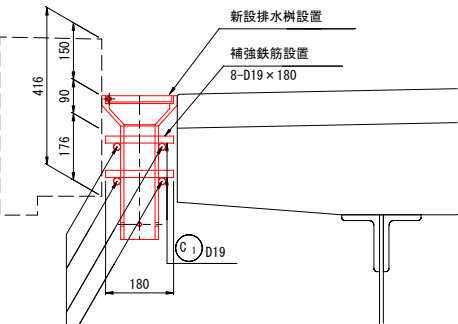


新設排水樹設置 S=1:10

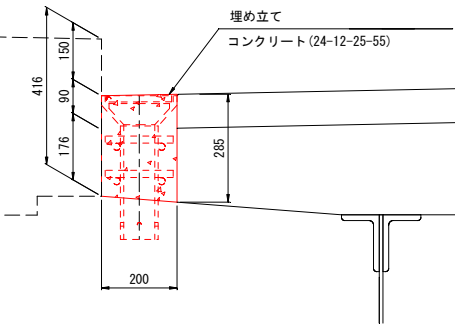
1. 舗装・床版撤去



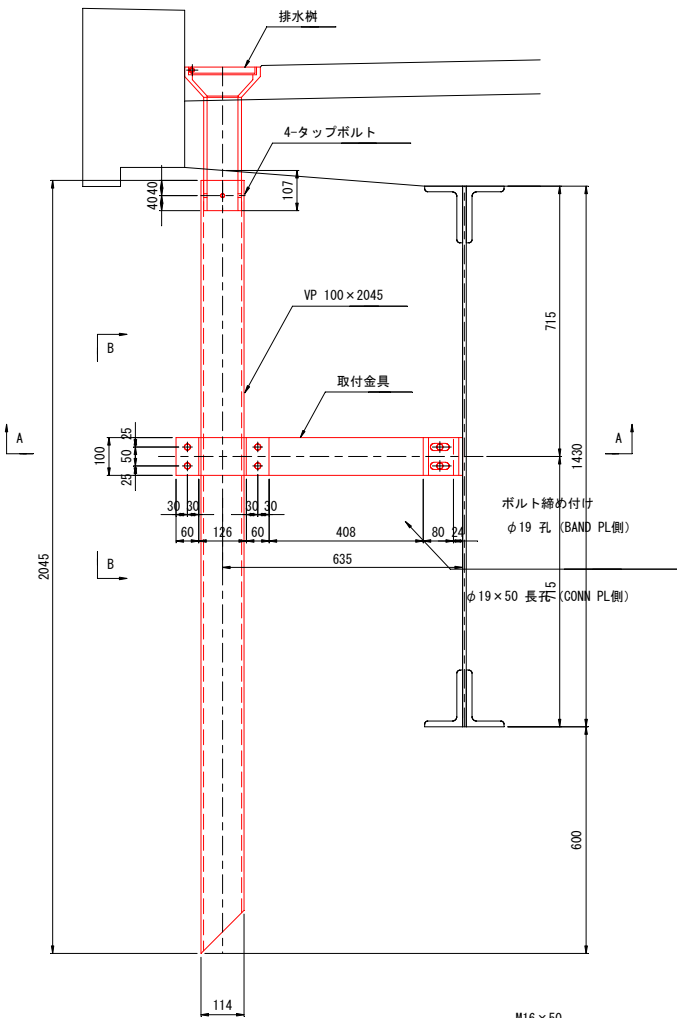
2. 新設排水樹・補強鉄筋設置



3. 埋め立て

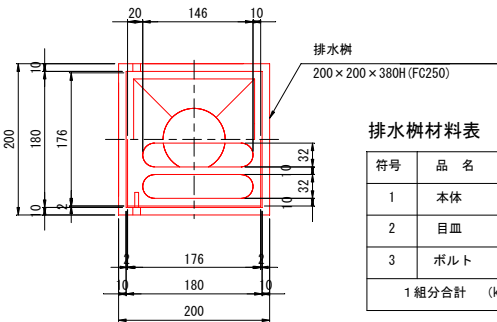


排水管設置詳細図 S=1:10



排水樹詳細図 S=1:5

平面図



排水樹材料表

符号	品名	材質	数量	重量 (kg)
1	本体	FC250	1	11.5
2	目皿	FC250	1	2.1
3	ボルト	SS400	2	0.1
1組分合計 (kg)				13.7

埋込材料表

工種	仕様
埋め立て	コンクリート 24-12-25-55

取付金具 N=10

2-PL 100 x 6 x 306 (SS400) ※CAD計測  
2-PL 100 x 6 x 581 (SS400) ※CAD計測  
2-L 90 x 90 x 10 x 100 (SS400)  
4-BN (2-W) M16 x 40 (SS400)  
4-BN (2-W) M16 x 45 (SS400)  
4-BN (2-W) M16 x 50 (SS400)

鉄筋表

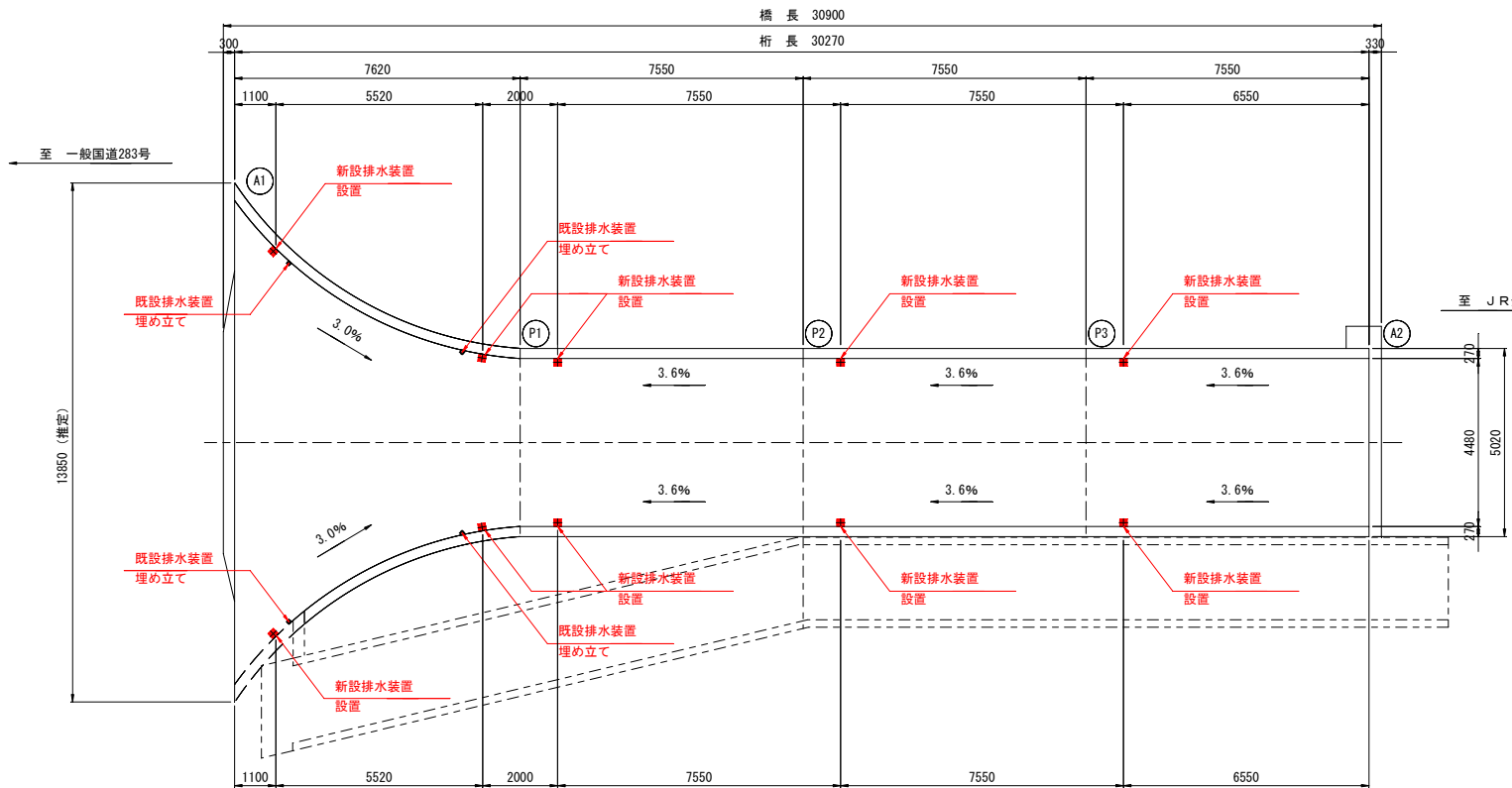
記号	径	長さ	本数	単位重量	1本当り重量	重量	形状
C <sub>1</sub>	D19	180	8	2.25	0.41	3	—
1箇所当り				D19		3 kg	
10箇所当り				D19		30 kg	

この図面は原図を1/2に縮小して  
いるものであり、図示される縮尺  
は原図に対するものである。

※本図面は、橋梁台帳および現地寸法計測により  
復元したものである。細部の詳細寸法について  
は、現地再計測の上決定すること。

釜石市	
市道 大松1号線	岩手県釜石市 甲子町第3地割
全 22 枚ノ中 其 13	五葉橋（車道部） 排水装置補修図
令和 5 年度	
大松1号線（五葉橋）橋梁補修工事	
縮尺	図示

位置図 S=1:100



五葉橋（車道部） 下部工補修図（その1）

S=1:50

断面補修工（A1橋台）

正面図

側面図  
（上流側）

側面図  
（下流側）

損傷の種類	表 示
ひびわれ	
剥 離	
鉄筋露出	
う き	
そ の 他	

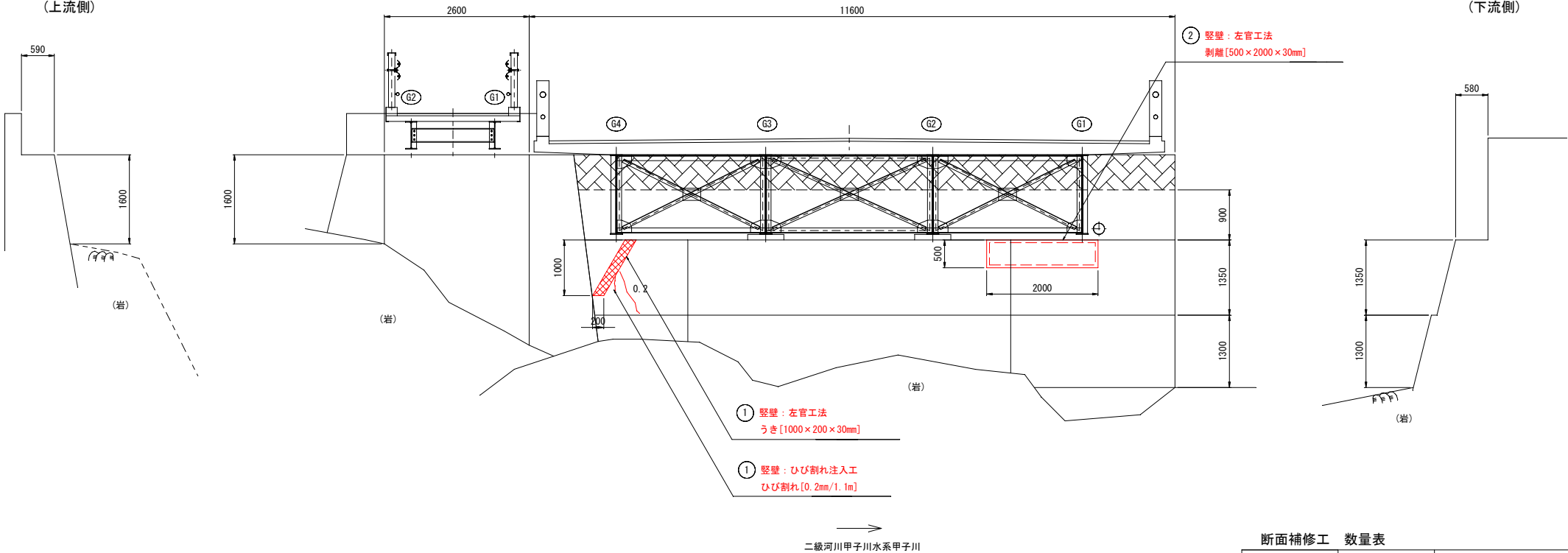
※凡例

番号 部材：左官工法

損傷[縦×横×厚さ(mm)]

番号 部材：ひび割れ注入工

損傷[幅(mm)/長さ(m)]

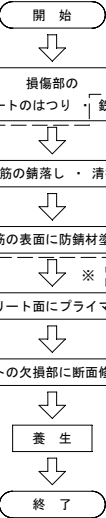


断面補修工 数量表

工法	箇所	寸 法						数 量	
左官工法	A1橋台	①	1.000	×	0.200	×	0.030	=	0.0060 m3
		②	0.500	×	2.000	×	0.030	=	0.0300 m3
	計							=	0.036 m3

断面修復工〔左官工法〕

断面修復の施工フロー



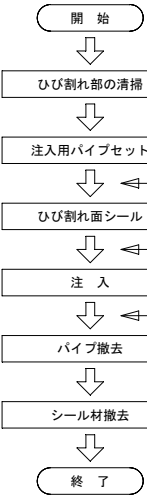
材 料 表

工 種	仕 様
断面修復材	ポリマーセメントモルタル
プライマー	ポリマーセメント系プライマー
防錆材	防錆材入りポリマーセメント系プライマー

ひび割れ注入工

（ひび割れ幅 0.2mm 以上 1.0mm 未満）  
（注入圧力0.4MPa以下の低圧低速注入工法）

ひび割れ注入工の施工フロー

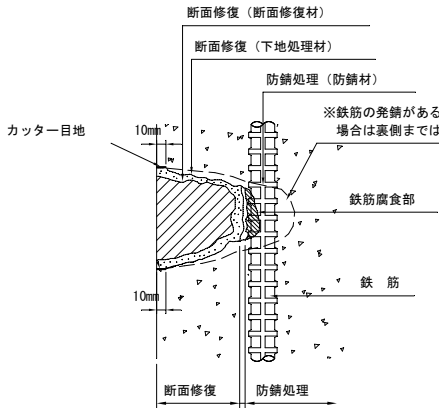


材 料 表

工 種	仕 様
注入材	エポキシ樹脂系注入材
シール材	エポキシ樹脂系シール材

ひび割れ注入工 数量表

工法	箇所	幅 (mm)		延長 (m)	箇所数	数 量
低圧注入工法	A1橋台	①	0.2	1.100	1	1.1 m
	計					1.1 m



※端部はフェザーエッジ防止のため、  
10mm程度のカッターを入れること。

※断面修復厚は、劣化が表面的である  
ため、30mm程度としている。

※本図面は、橋梁台帳および現地寸法計測により  
復元したものである。細部の詳細寸法について  
は、現地再計測の上決定すること。

釜 石 市	
市道 大松1号線	岩手県釜石市 甲子町第3地割
全 22 枚ノ中 其 14	五葉橋（車道部） 下部工補修図その1
令和 5 年度	
大松1号線（五葉橋）橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

この図面は原図を1/2に縮小して  
いるものであり、図示される縮尺  
は原図に対するものである。



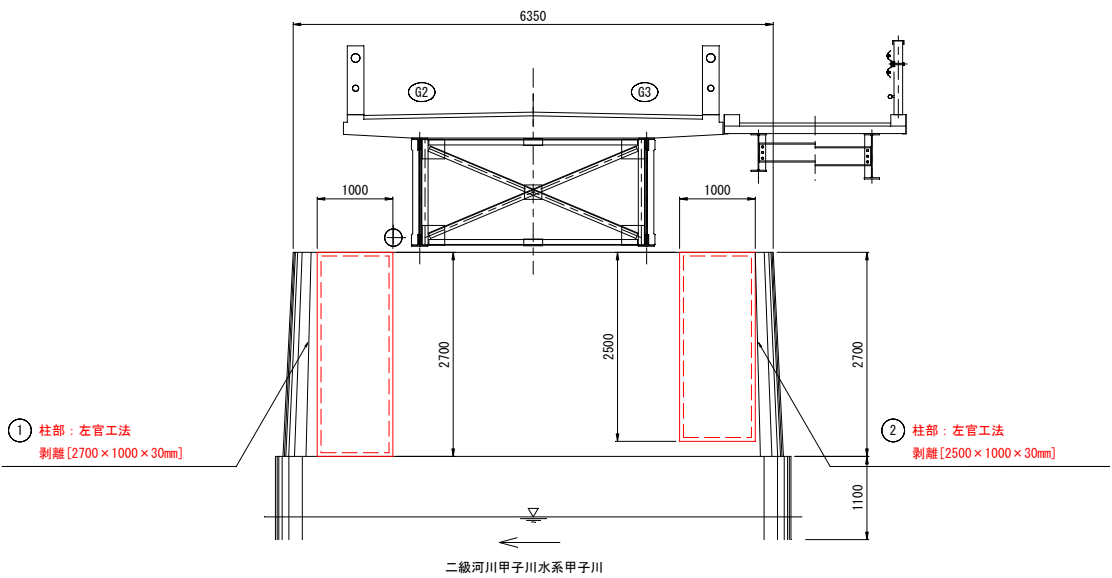
五葉橋（車道部） 下部工補修図（その2）

S=1:50

断面補修工（P1橋脚）

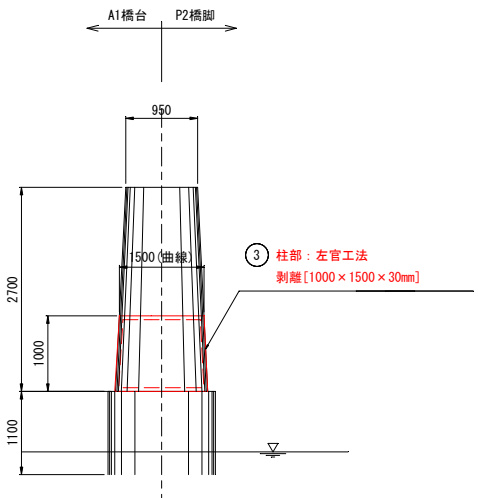
正面図

(A1橋台側)



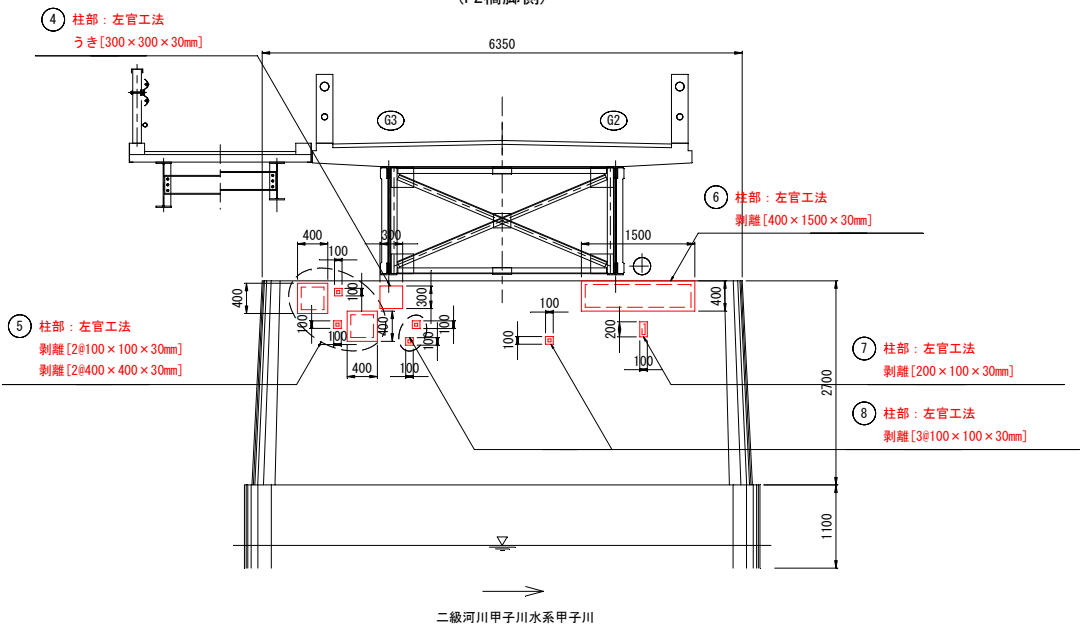
側面図

(上流側)

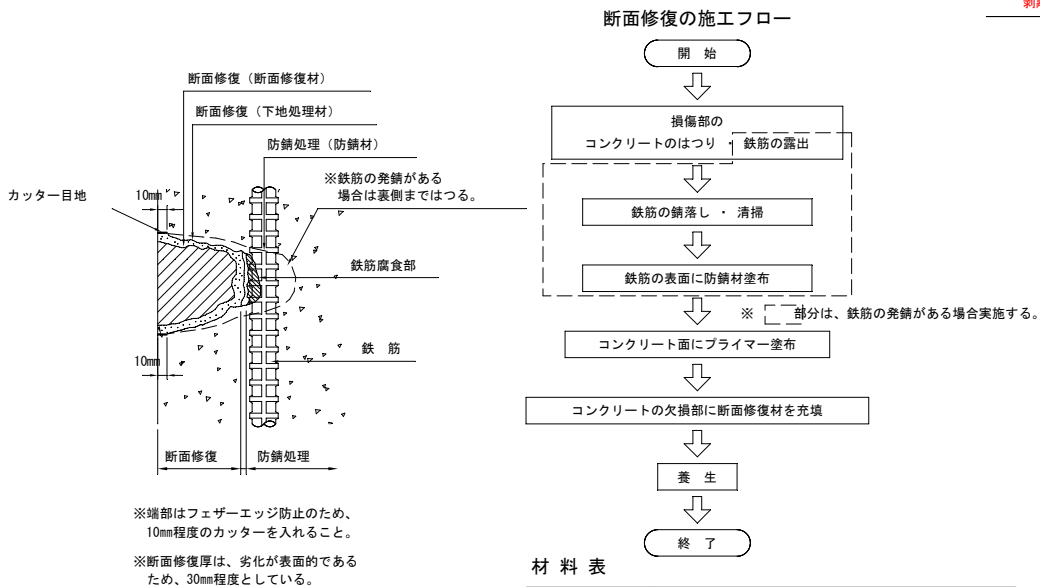


正面図

(P2橋脚側)



断面修復工〔左官工法〕



材料表

工種	仕様
断面修復材	ポリマーセメントモルタル
プライマー	ポリマーセメント系プライマー
防錆材	防錆材入りポリマーセメント系プライマー

断面補修工 数量表

工法	箇所	寸法	数量
左官工法	P1橋脚	① 2.700 × 1.000 × 0.030	= 0.0810 m3
		② 2.500 × 1.000 × 0.030	= 0.0750 m3
		③ 1.000 × 1.500 × 0.030	= 0.0450 m3
		④ 0.300 × 0.300 × 0.030	= 0.0027 m3
		⑤ 0.100 × 0.100 × 0.030 × 2	= 0.0006 m3
		⑤ 0.400 × 0.400 × 0.030 × 2	= 0.0096 m3
		⑥ 0.400 × 1.500 × 0.030	= 0.0180 m3
		⑦ 0.200 × 0.100 × 0.030	= 0.0006 m3
	計	⑧ 0.100 × 0.100 × 0.030 × 3	= 0.0009 m3
			= 0.233 m3

損傷の種類	表示
ひびわれ	
剥離	
鉄筋露出	
うき	
その他	

※凡例

番号 部材：左官工法  
損傷〔縦×横×厚さ(mm)〕

※本図面は、橋梁台帳および現地寸法計測により復元したものである。細部の詳細寸法については、現地再計測の上決定すること。

釜石市	
市道 大松1号線	岩手県釜石市 甲子町第3地割
全 22 枚ノ中 其 15	五葉橋（車道部） 下部工補修図その2
令和 5 年度	
大松1号線（五葉橋）橋梁補修工事	
縮尺	図示

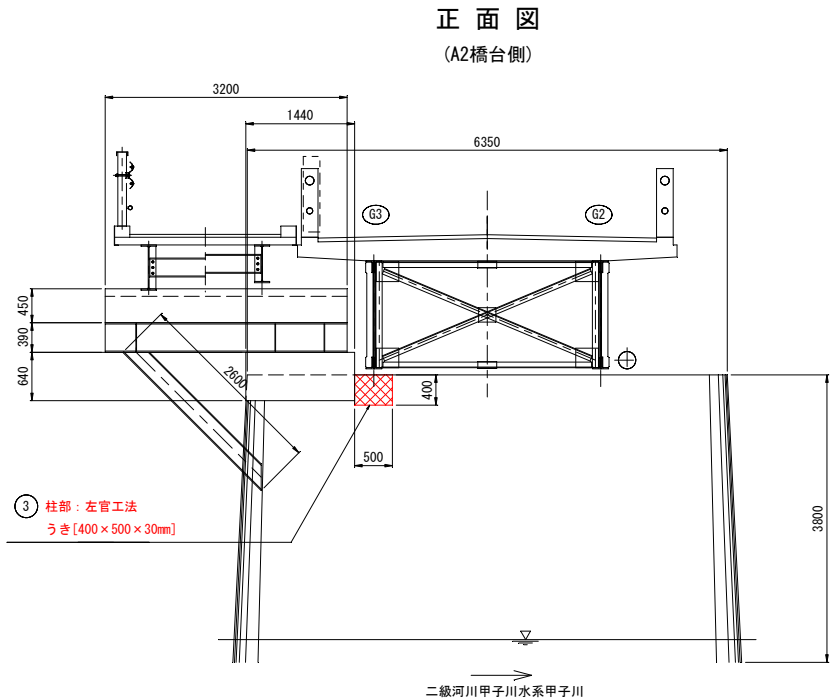
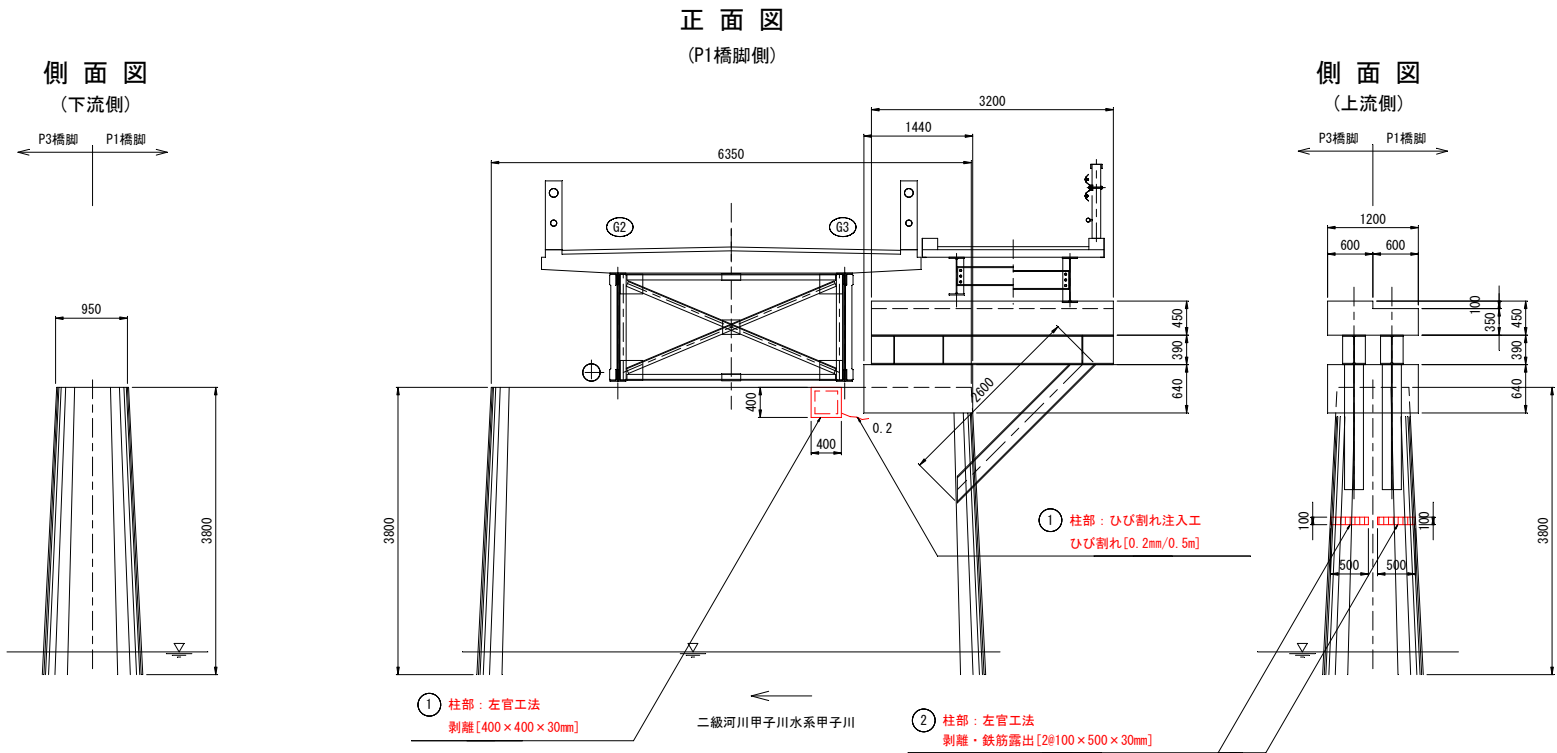
この図面は原図を1/2に縮小しているものであり、図示される縮尺は原図に対するものである。



五葉橋（車道部） 下部工補修図（その3）

S=1:50

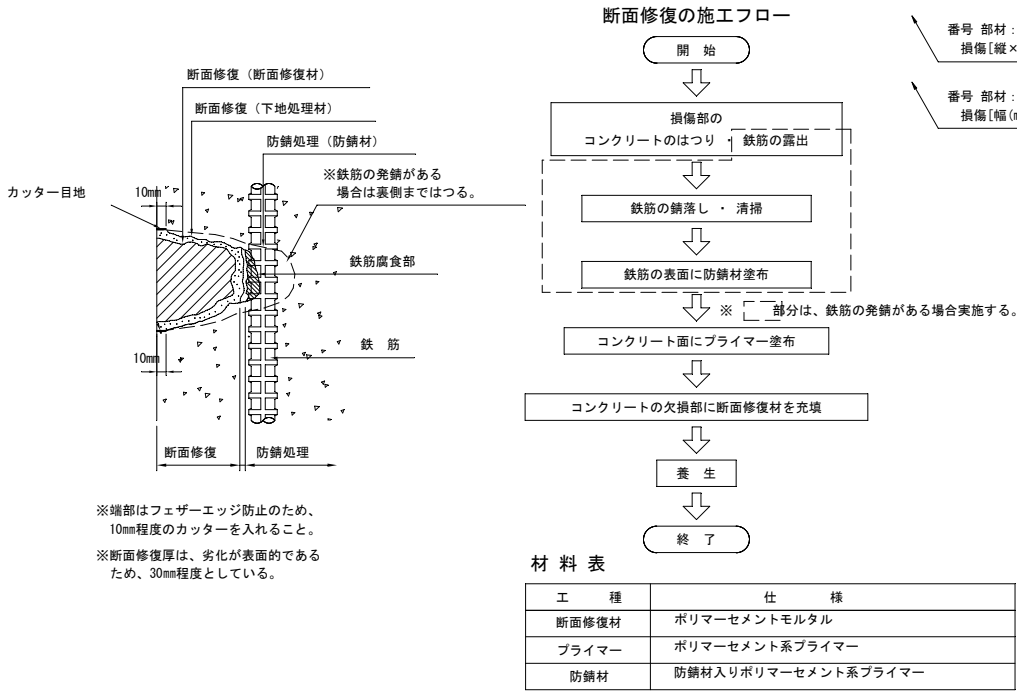
断面補修工（P2橋脚）



断面補修工 数量表						
工法	箇所	寸 法				数 量
左官工法	P2橋脚	①	0.400	×	0.400	0.0048 m <sup>3</sup>
		②	0.100	×	0.500	0.0030 m <sup>3</sup>
		③	0.400	×	0.500	0.0060 m <sup>3</sup>
		計				0.014 m <sup>3</sup>

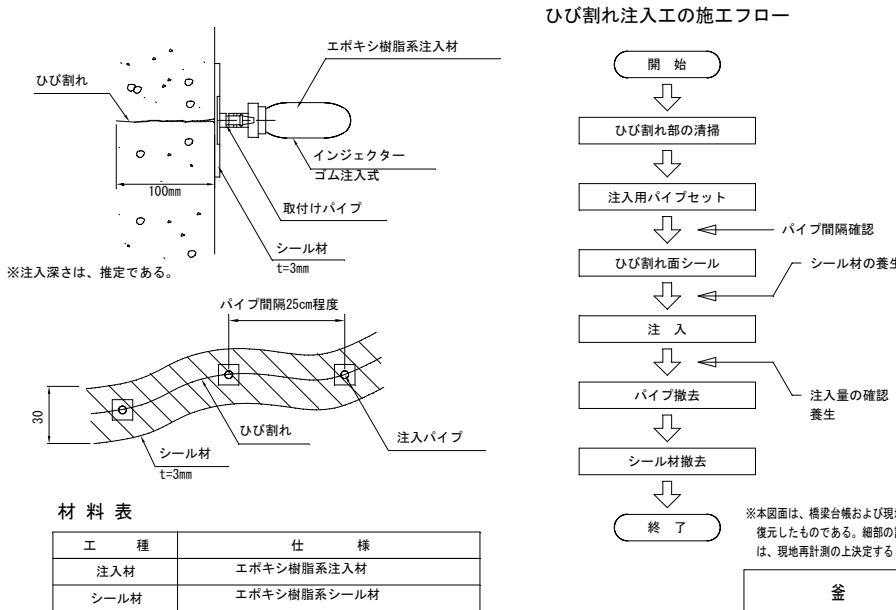
ひび割れ注入工 数量表						
工法	箇所	幅 (mm)	延長 (m)	箇所数	数 量	
低圧注入工法	P2橋脚	①	0.2	1	0.5 m	
		計				0.5 m

断面修復工〔左官工法〕



ひび割れ注入工

(ひび割れ幅 0.2mm 以上 1.0mm 未満)  
(注入圧力0.4MPa以下の低圧低速注入工法)



損傷の種類	表 示
ひびわれ	
剥 離	
鉄筋露出	
う き	
そ の 他	

※凡例

番号 部材：左官工法

損傷[縦×横×厚さ(mm)]

番号 部材：ひび割れ注入工

損傷[幅(mm)/長さ(m)]

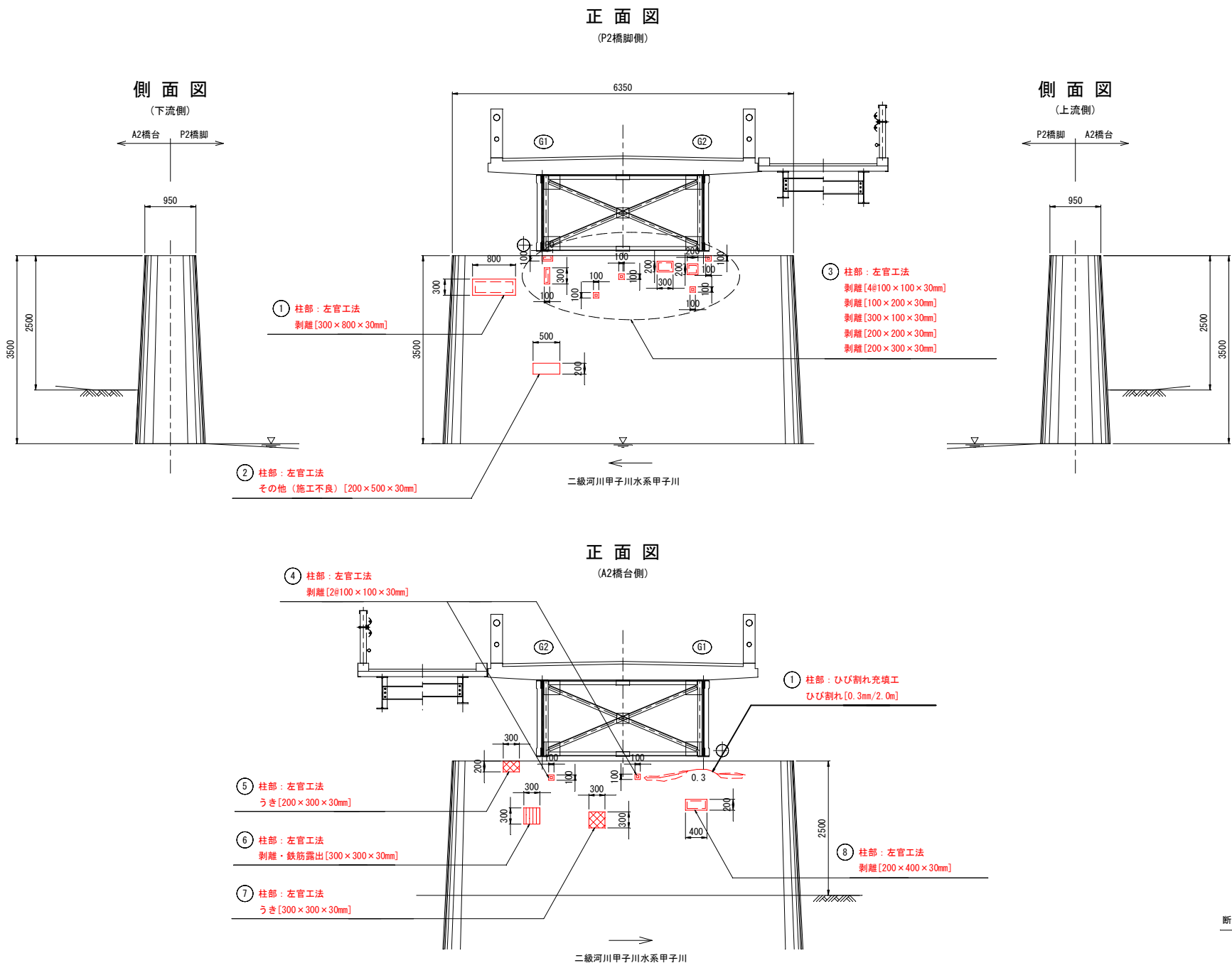
この図面は原図を1/2に縮小しているものであり、図示される縮尺は原図に対するものである。

釜 石 市	
市道 大松1号線	岩手県釜石市 甲子町第3地割
全 22 枚ノ中 其 16	五葉橋（車道部） 下部工補修図その3
令和 5 年度	
大松1号線（五葉橋）橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

五葉橋（車道部） 下部工補修図（その4）

S=1:50

断面補修工（P3橋脚）



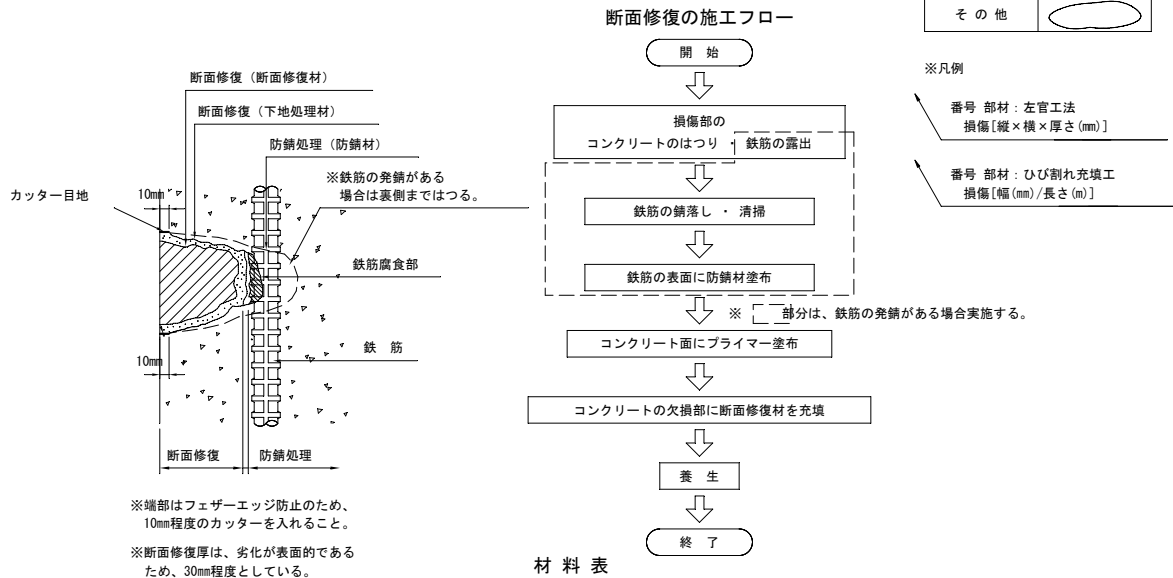
断面補修工 数量表

工法	箇所	寸法	数量
左官工法	P3橋脚	① 0.300 × 0.800 × 0.030 =	0.0072 m3
		② 0.200 × 0.500 × 0.030 =	0.0030 m3
		③ 0.100 × 0.100 × 0.030 × 4 =	0.0012 m3
		0.100 × 0.200 × 0.030 =	0.0006 m3
		0.300 × 0.100 × 0.030 =	0.0009 m3
		0.200 × 0.200 × 0.030 =	0.0012 m3
		0.200 × 0.300 × 0.030 =	0.0018 m3
		④ 0.100 × 0.100 × 0.030 × 2 =	0.0006 m3
		⑤ 0.200 × 0.300 × 0.030 =	0.0018 m3
		⑥ 0.300 × 0.300 × 0.030 =	0.0027 m3
		⑦ 0.300 × 0.300 × 0.030 =	0.0027 m3
		⑧ 0.200 × 0.400 × 0.030 =	0.0024 m3
		計 =	0.026 m3

ひび割れ充填工 数量表

工法	箇所	幅 (mm)	延長 (m)	箇所数	数量
Uカット工法	P3橋脚	① 0.3	2.000	1	2.0 m
		計			2.0 m

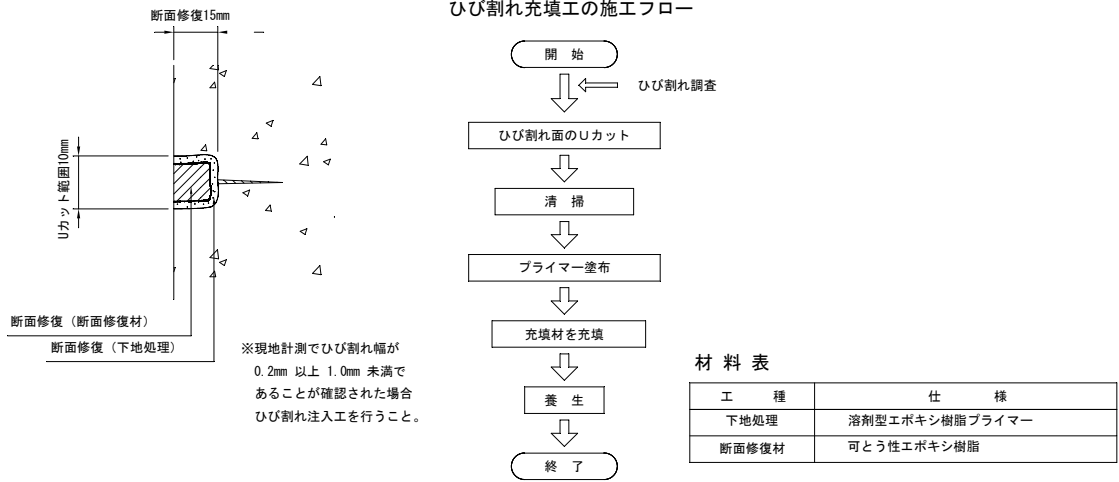
断面修復工〔左官工法〕



ひび割れ充填工

(Uカット工法)

(ひび割れ幅 1.0mm 以上、遊離石灰を伴う箇所)



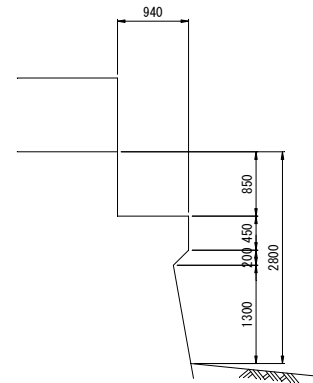
この図面は原図を1/2に縮小しているものであり、図示される縮尺は原図に対するものである。

※本図面は、橋梁台帳および現地寸法計測により復元したものである。細部の詳細寸法については、現地再計測の上決定すること。

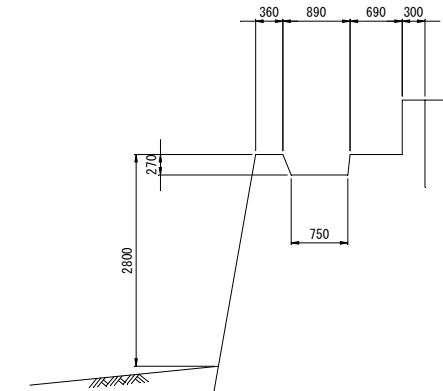
釜石市	
市道 大松1号線	岩手県釜石市 甲子町第3地割
全 22 枚ノ中 其 17	五葉橋 (車道部) 下部工補修図その4
令和 5 年度	
大松1号線 (五葉橋) 橋梁補修工事	
縮尺	図示




S=1:50

側面図  
(下流側)



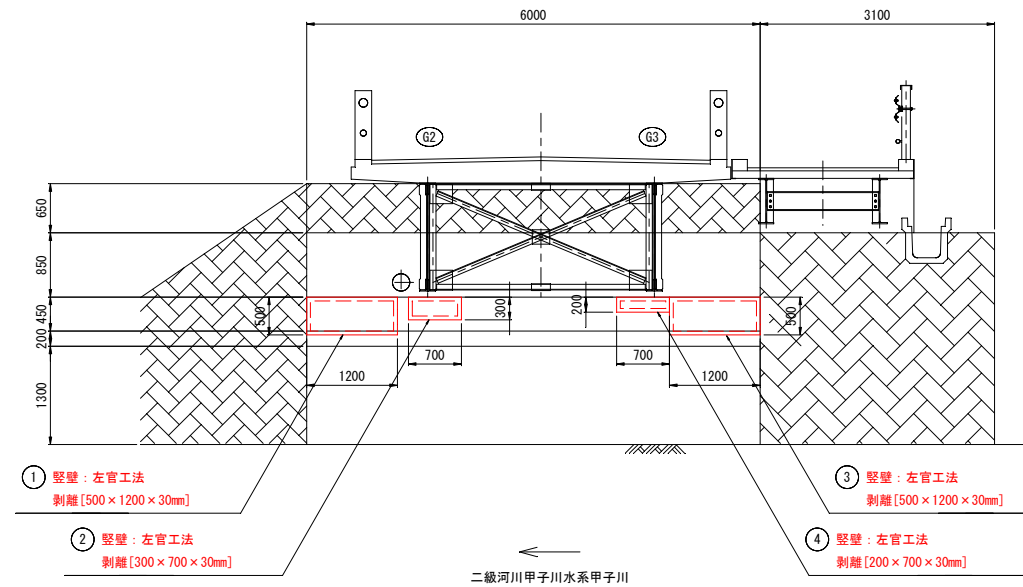
側面図  
(上流側)



損傷の種類	表 示
ひびわれ	
剥 離	
鉄筋露出	
う き	
そ の 他	

### ※凡例

番号 部材：左官工法  
損傷[縦×横×厚さ(mm)]

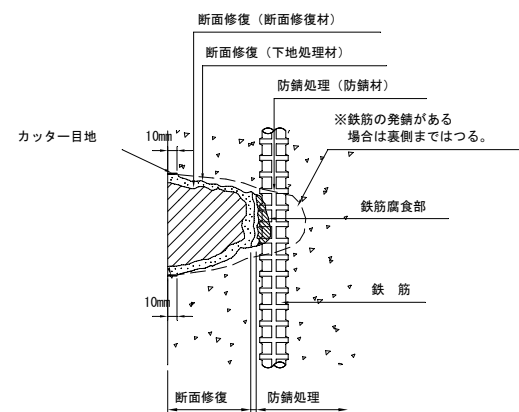


6000

940

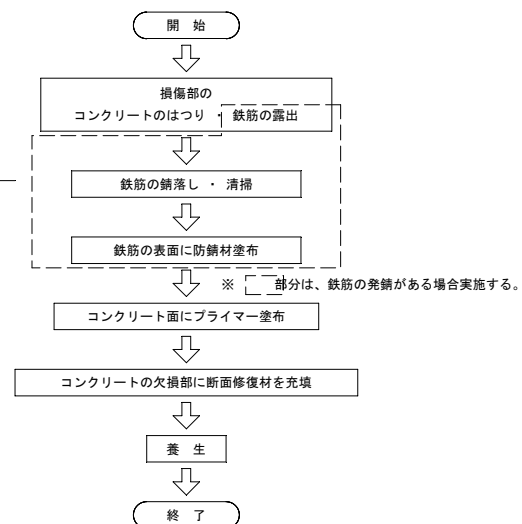
5 沓座：左官工法  
剥離 [940 × 6000 × 30mm]

## 断面修復の施工フロー



※端部はフェザーエッジ防止のため、  
10mm程度のカッターを入れること。

※断面修復厚は、劣化が表面的であるため、30mm程度としている。



### 材料表

工 種	仕 様
断面修復材	ポリマーセメントモルタル
プライマー	ポリマーセメント系プライマー
防錆材	防錆材入りポリマーセメント系プライマー

## 断面補修工 数量表

工 法		箇 所		寸 法				数 量	
左官工法	A2橋台	①	0.500	×	1.200	×	0.030	=	0.0180 m3
		②	0.300	×	0.700	×	0.030	=	0.0063 m3
		③	0.500	×	1.200	×	0.030	=	0.0180 m3
		④	0.200	×	0.700	×	0.030	=	0.0042 m3
		⑤	0.940	×	6.000	×	0.030	=	0.1692 m3
		計							=

※本図面は、橋梁台帳および現地寸法計測により復元したものである。細部の詳細寸法については、現地再計測の上決定すること。

釜 石 市	
市道 大松1号線	岩手県釜石市 甲子町第3地割
全 22 枚 / 中 其 18	五葉橋（車道部） 下部工補修図その5
令和 5 年度	
大松1号線（五葉橋）橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

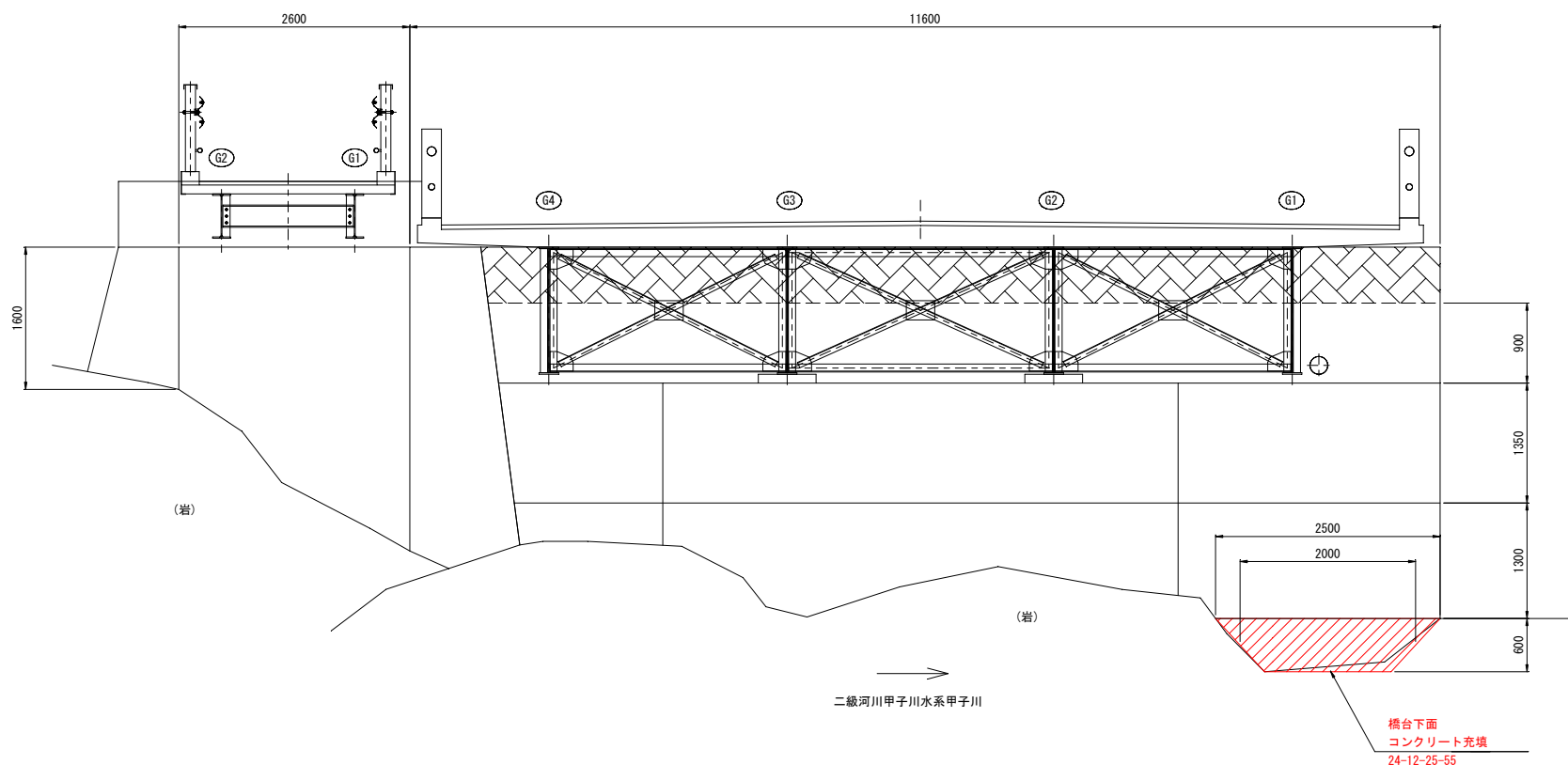
この図面は原図を1/2に縮小して  
いるものであり、図示される縮尺  
は原図に対するものである。

五葉橋（車道部） 下部工補修図（その6）

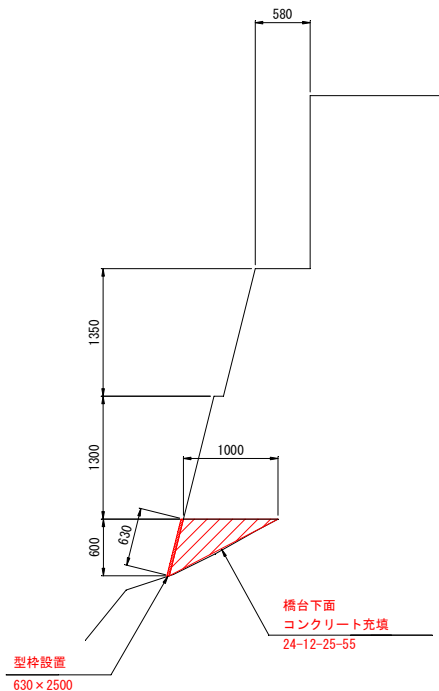
S=1:40

コンクリート充填（A1橋台）

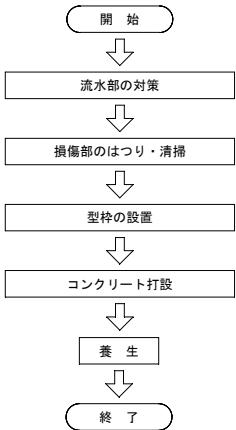
正面図



側面図  
(下流側)



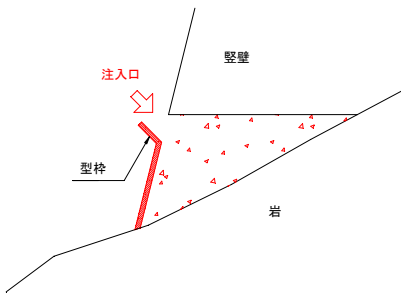
施工フロー



材料表

工 種	仕 様
充填工	コンクリート 24-12-25-55

充填工概要図



注記

1. 劣化部は除去後、清掃を行うこと。

この図面は原図を1/2に縮小して  
いるものであり、図示される縮尺  
は原図に対するものである。

19  
25

※本図面は、橋梁台帳および現地寸法計測により  
復元したものである。細部の詳細寸法につい  
ては、現地再計測の上決定すること。

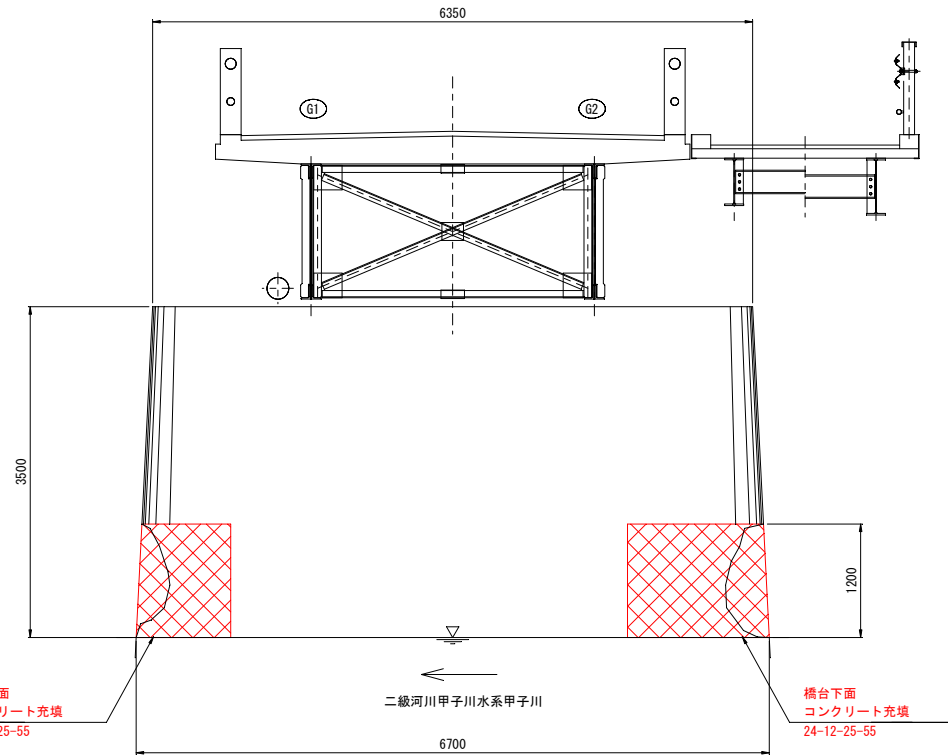
釜 石 市	
市道 大松1号線	岩手県釜石市 甲子町第3地割
全 22 枚ノ中 其 19	五葉橋（車道部） 下部工補修図その6
令和 5 年度	
大松1号線（五葉橋）橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

五葉橋（車道部） 下部工補修図（その7）

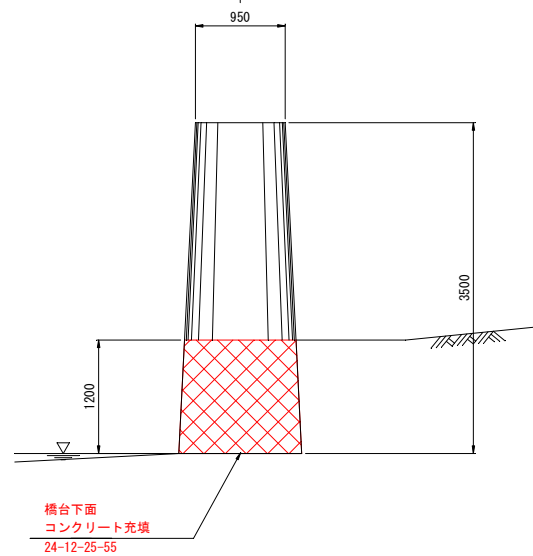
S=1:40

コンクリート充填（P3橋脚）

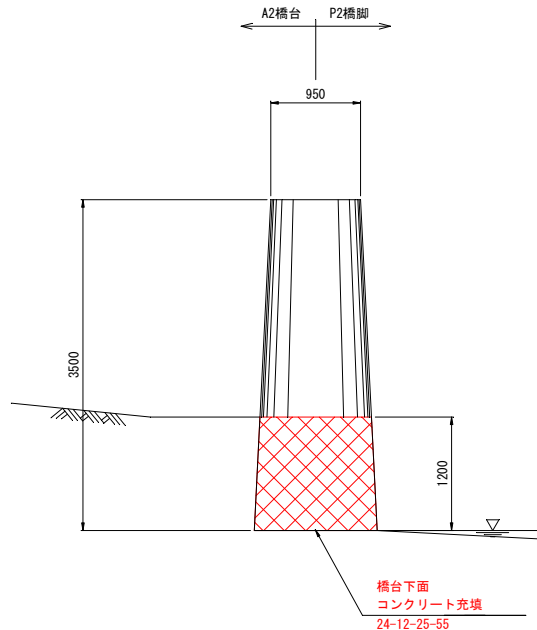
正面図  
(P2橋脚側)



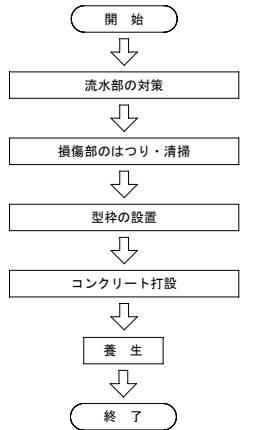
側面図  
(上流側)



側面図  
(下流側)



施工フロー



材料表

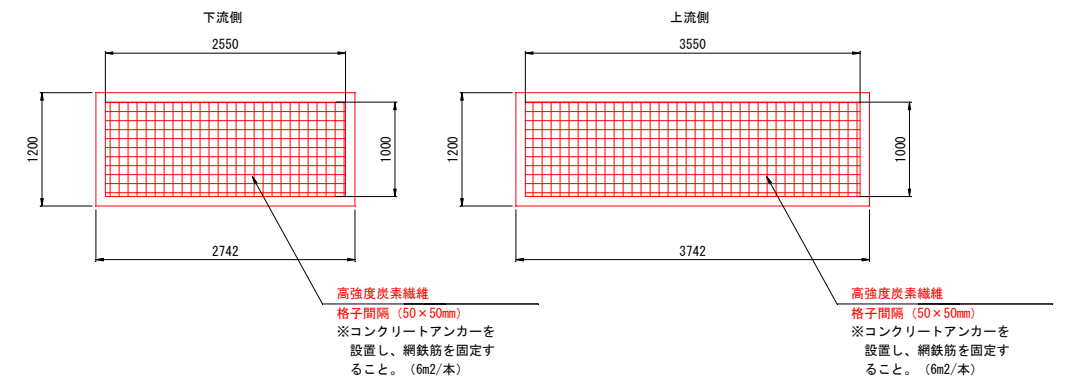
工種	仕様
充填工	コンクリート 24-12-25-55

鉄筋表

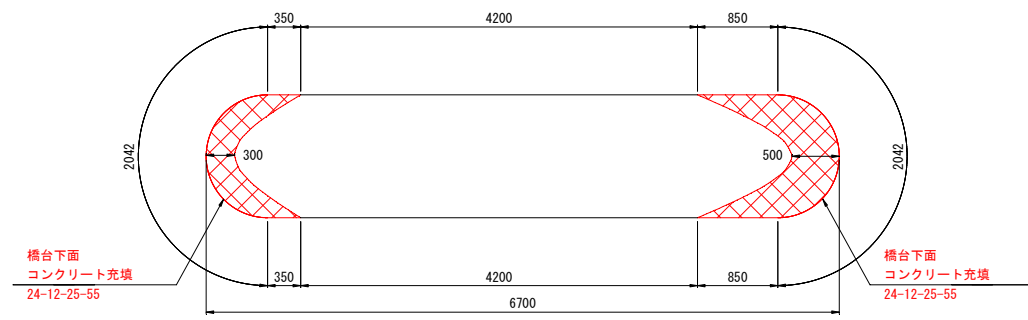
箇所	径	長さ	本数	単位重量 (kg/m)	一本当り重量 (kg)	重量 (kg)	摘要
上流側	D13	520	9	0.995	0.52	5	
下流側	D13	320	9	0.995	0.32	3	
						D13 8 kg	
						全体鉄筋量 D13 (SD345) 8 kg	
						コンクリートアンカー M12 44 本	

ひび割れ防止鉄筋詳細図

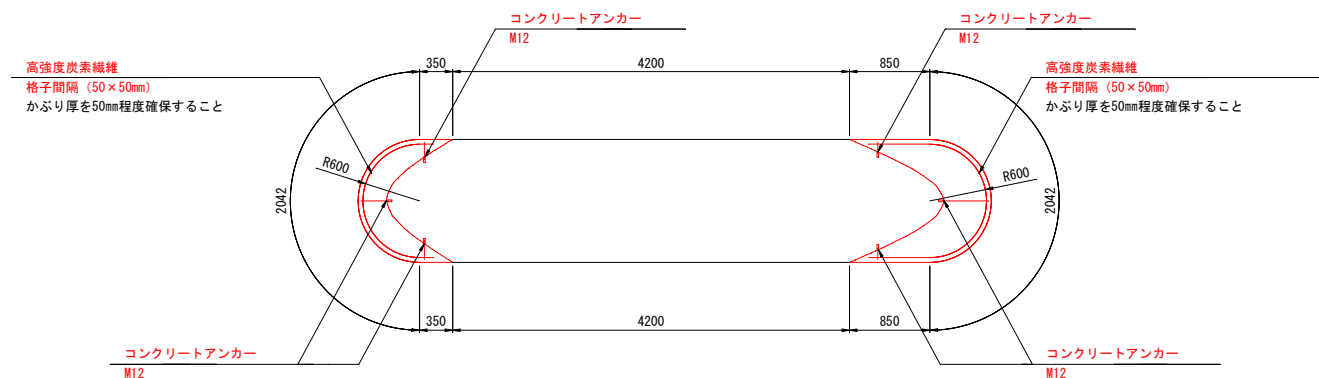
※コンクリートアンカーの設置位置は現場にて調整すること。



平面図（コンクリート）

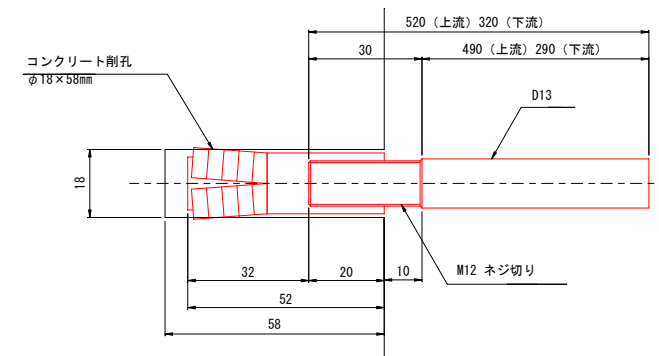


平面図（ひび割れ防止鉄筋）



コンクリートアンカー詳細図

S=1:1



注記

- 劣化部は除去後、清掃を行うこと。

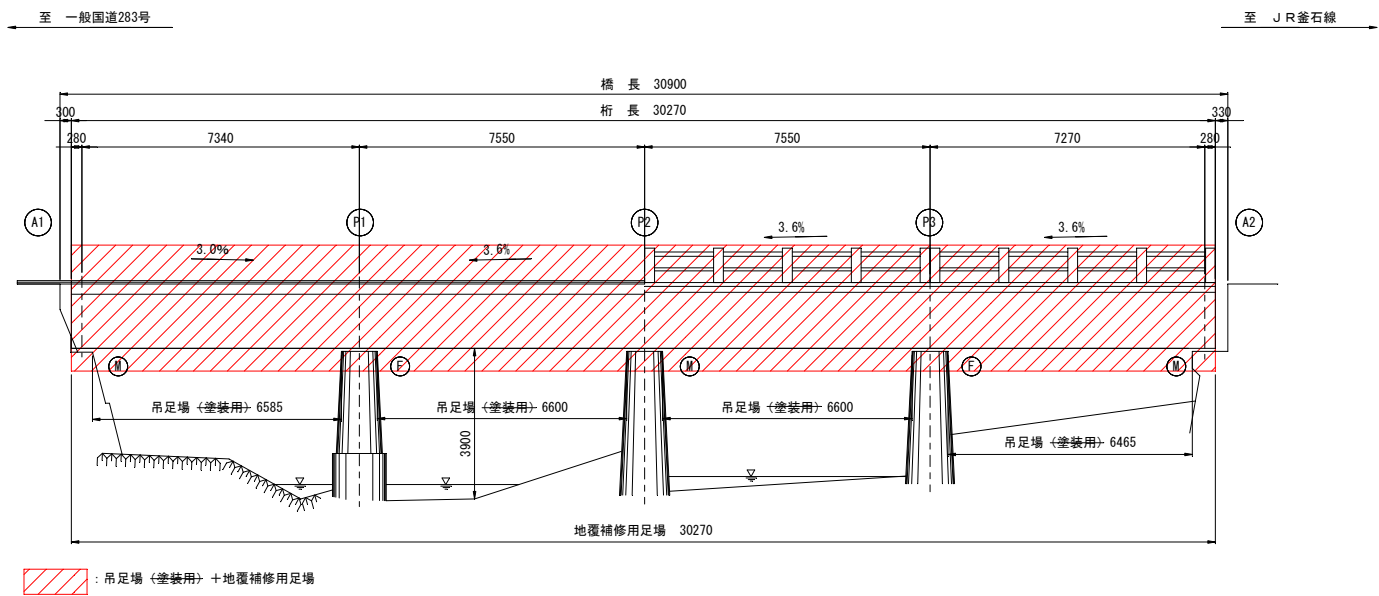
※本図面は、橋梁台帳および現地寸法計測により復元したものである。細部の詳細寸法については、現地再計測の上決定すること。

釜石市	
市道 大松1号線	岩手県釜石市 甲子町第3地割
全 22 枚ノ中 其 20	五葉橋（車道部） 下部工補修図その7
令和 5 年度	
大松1号線（五葉橋）橋梁補修工事	
縮尺	図示

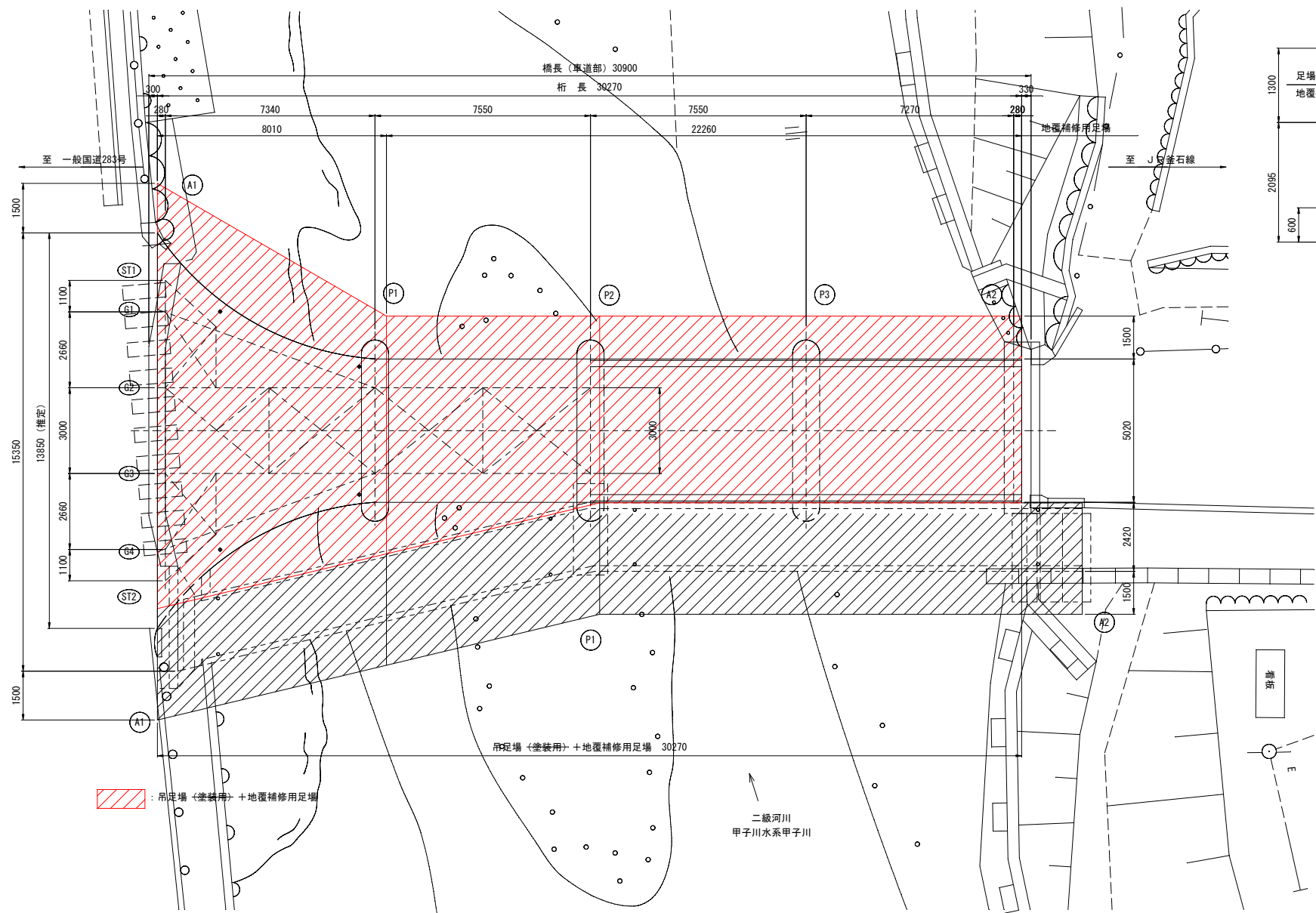
この図面は原図を1/2に縮小しているものであり、図示される縮尺は原図に対するものである。

五葉橋（車道部） 施工計画図（案）（その1）

側面図 S=1:100

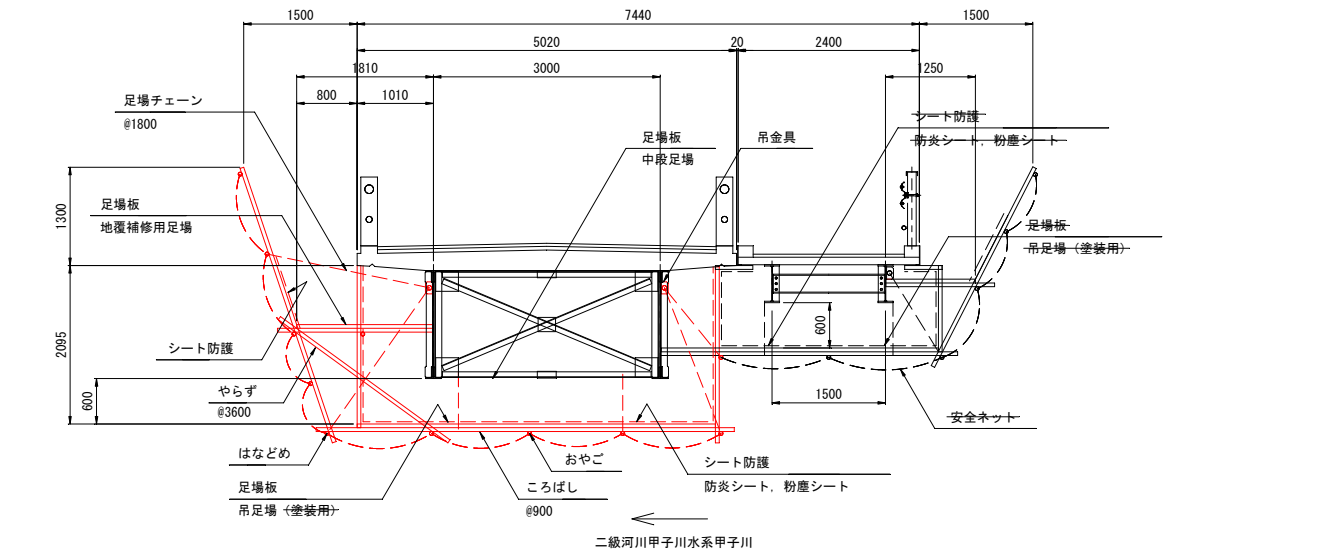


平面図 S=1:100

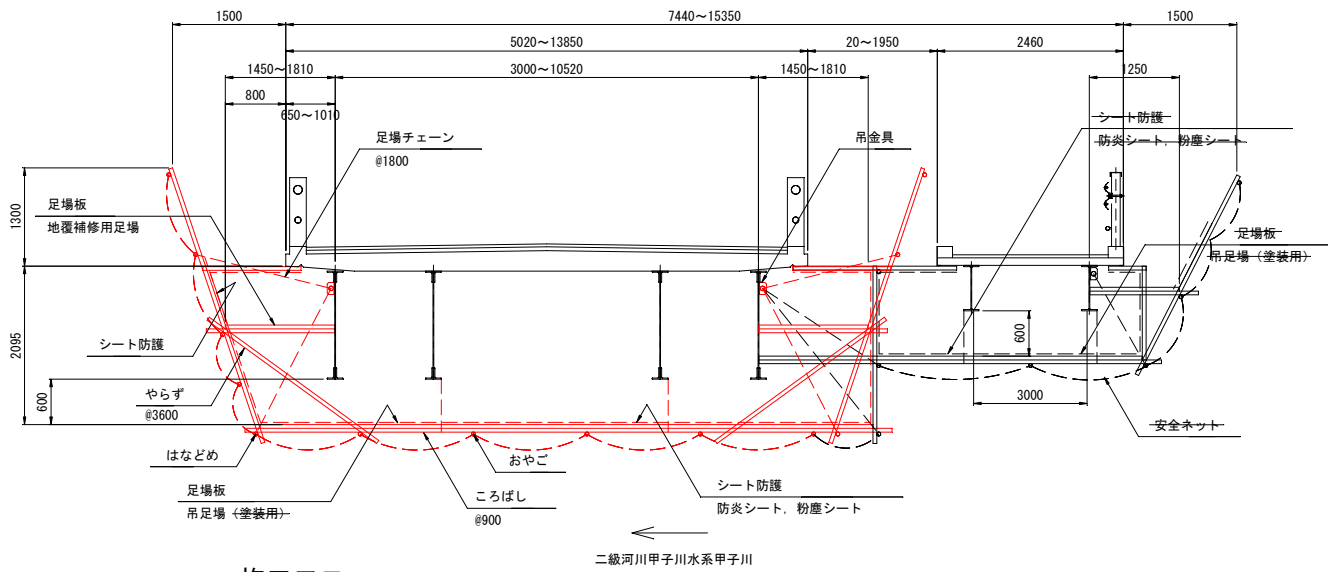


断面図 S=1:50

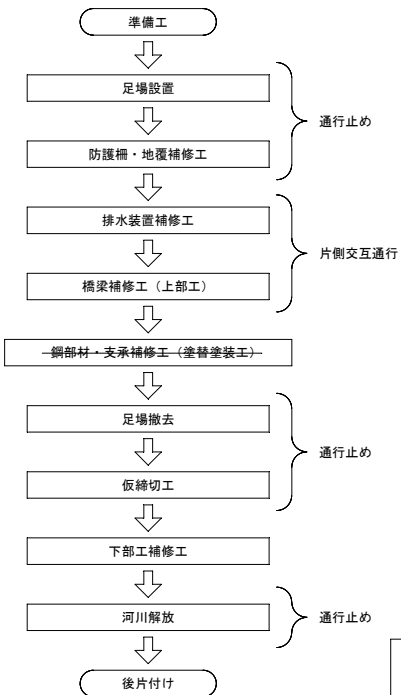
P1～A2



A1～P1

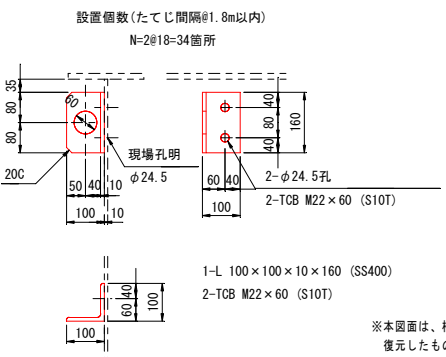


施工フロー



吊金具詳細図

S=1:10

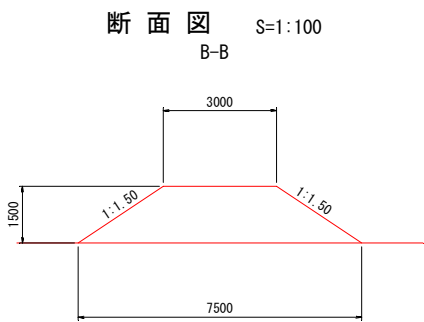
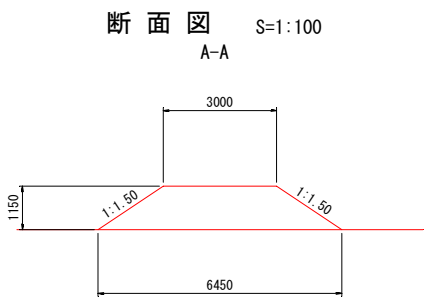
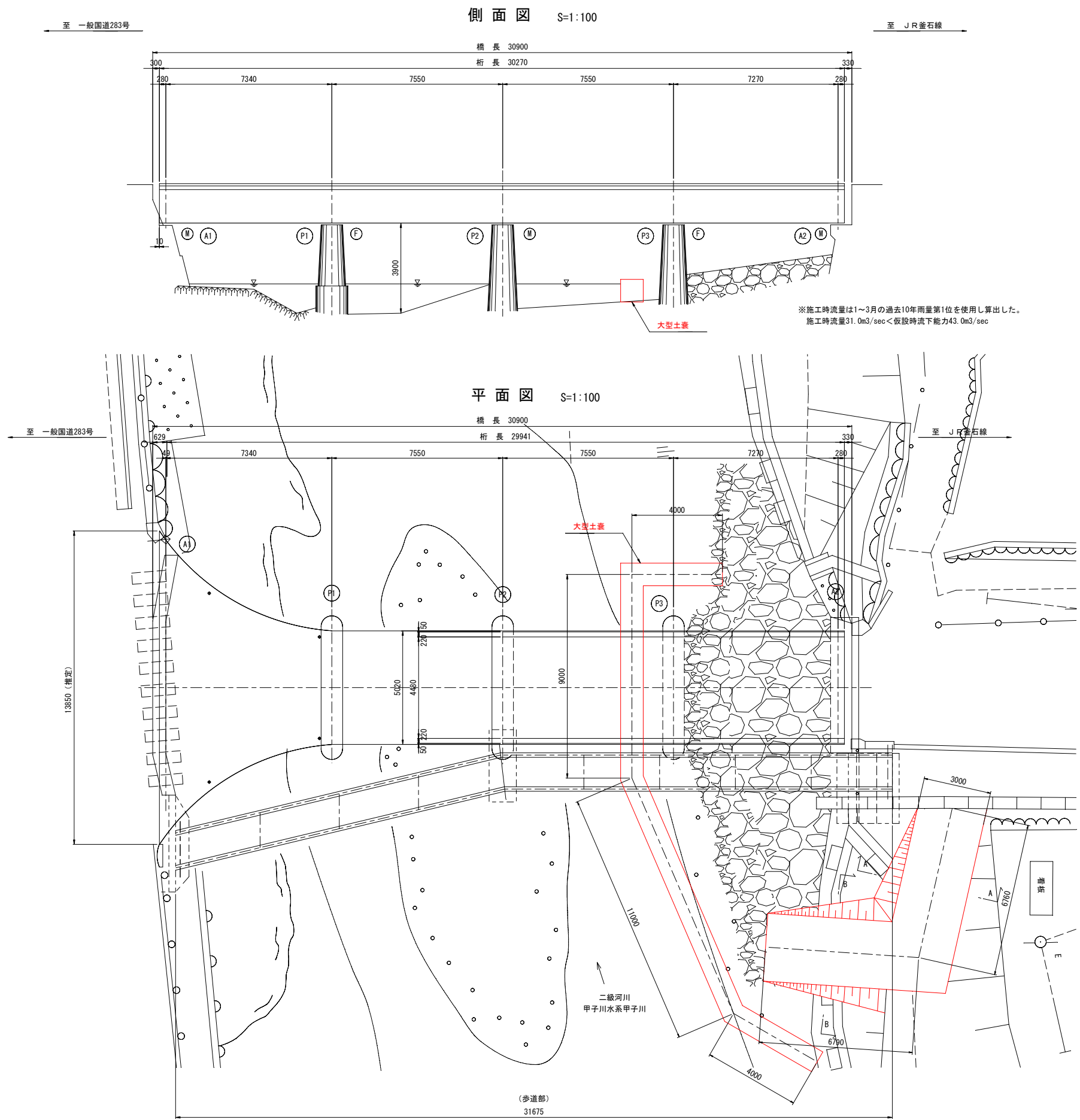


釜石市	
市道 大松1号線	岩手県釜石市 甲子町第3地割
全 22 枚 / 中 其 21	五葉橋（車道部） 施工要領図（案）その1
令和 5 年度	
大松1号線（五葉橋）橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

この図面は原図を1/2に縮小しているものであり、図示される縮尺は原図に対するものである。



五葉橋（車道部） 施工計画図（案）（その2）



※本図面は、橋梁台帳および現地寸法計測により復元したものである。細部の詳細寸法については、現地再計測の上決定すること。

釜石市	
市道 大松1号線	岩手県釜石市 甲子町第3地割
全 22 枚 / 中 其 22	五葉橋（車道部） 施工要領図（案）その2
令和 5 年度	
大松1号線（五葉橋）橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

この図面は原図を1/2に縮小して  
いるものであり、図示される縮尺  
は原図に対するものである。

22  
25